

5. 献血ルームのイメージ

【未経験者編】



(1) 献血ルームのイメージ (Q18)

【献血ルームのイメージは「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る】

- 献血ルームのイメージについては、「ふつう」の印象を持っている人が41.4%を占め、最多。「明るい」イメージは17.3%に対して、「暗い」イメージが11.0%と、「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る。その一方で、3割(30.3%)の人は「わからない」と回答している。
- 職業別では、いずれの層も「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回っている。
- 性別では、「明るい」イメージを持っている割合は男性(14.4%)に比べて女性(20.3%)で高い。
- 地域別では、「明るい」イメージは東北(22.7%)と九州・沖縄(23.3%)で他の地域と比べて高く、2割を超える。

- 20年度調査と比べると、全体では「明るい」と「わからない」が上昇した一方、「ふつう」と「暗い」が低下した。
- 職業別では、20年度調査と比べると、いずれの層も「明るい」イメージが上昇し、「暗い」イメージが低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、男性で「明るい」イメージが5ポイント上昇し、一方「暗い」イメージが5ポイント低下しており、評価が高くなっている。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北と九州・沖縄で「明るい」イメージが8ポイント上昇している。

5. 献血ルームのイメージ

【未経験者編】



(1) 献血ルームのイメージ (Q18)

Q18. 献血ルームのイメージを教えてください。

		(N)	明るい	ふつう	暗い	わからない	
全体	23年	(5000)	17.3	41.4	11.0	30.3	
	20年	(5000)	12.7	47.4	15.4	24.5	
	17年	(5000)	18.2	61.2		20.6	
高校生	23年	(642)	17.8	37.7	14.3	30.2	
	20年	(626)	12.8	45.0	16.1	26.0	
	17年	(398)	20.6	61.1		18.3	
大学生・専門学校生	23年	(1697)	18.2	43.1	10.5	28.2	
	20年	(1484)	13.5	49.5	15.7	21.4	
	17年	(932)	20.0	59.0		21.0	
会社員	23年	(1368)	16.7	41.3	11.0	31.0	
	20年	(1545)	10.6	48.3	15.9	25.2	
	17年	(1596)	17.9	60.2		21.9	
公務員	23年	(104)	17.3	40.4	13.5	28.8	
	20年	(85)	11.8	49.4	18.8	20.0	
	17年	(104)	23.1	64.4		12.5	
自営業	23年	(168)	14.9	41.1	11.3	32.7	
	20年	(134)	9.7	40.3	12.7	37.3	
	17年	(115)	19.1	62.6		18.3	
専業主婦	23年	(324)	17.6	42.3	10.5	29.6	
	20年	(423)	17.3	46.3	15.1	21.3	
	17年	(856)	16.9	63.4		19.6	
その他	23年	(797)	16.3	40.3	9.2	33.6	
	20年	(703)	13.8	45.0	12.9	28.3	
	17年	(999)	16.3	62.8		20.9	
性別	男性	23年	(2548)	14.4	40.6	12.2	32.8
	20年	(2556)	9.1	48.9	17.3	26.7	
	17年	(1688)	12.8	62.0		25.2	
女性	23年	(2452)	20.3	42.2	9.8	27.8	
20年	(2444)	16.5	48.0	13.3	22.2		
17年	(3312)	20.9	60.8		18.3		
地域別	北海道	23年	(206)	19.4	41.3	9.7	29.6
	20年	(210)	18.1	45.7	13.8	22.4	
	17年	(200)	23.0	69.0		8.0	
東北	23年	(353)	22.7	37.7	7.6	32.0	
20年	(355)	14.9	49.9	11.5	23.7		
17年	(350)	15.4	62.9		21.7		
関東甲信越	23年	(1825)	16.1	41.5	11.9	30.5	
20年	(1825)	11.0	48.6	17.9	24.5		
17年	(1800)	17.6	59.7		22.7		
東海北陸	23年	(786)	16.5	41.7	9.8	31.9	
20年	(780)	12.2	47.5	14.1	26.2		
17年	(750)	16.4	62.3		21.3		
近畿	23年	(816)	14.1	40.4	14.1	31.4	
20年	(816)	11.6	47.4	17.3	23.7		
17年	(850)	16.0	60.8		23.2		
中国・四国	23年	(431)	16.0	43.6	9.9	31.1	
20年	(431)	14.8	48.3	10.9	26.0		
17年	(450)	20.0	65.6		14.4		
九州・沖縄	23年	(583)	23.3	42.4	9.3	25.0	
20年	(583)	15.4	49.4	12.5	23.7		
17年	(600)	23.7	58.5		17.8		

注：17年は「わからない」の回答数なし。



(1) 1位<最も大きな理由> (Q19)

【献血したことがない1番の理由は「針を刺すのが痛くて嫌だから」が1割強】

- 献血をしたことがない理由を大きい順に3つまで選んでもらったところ、1位の理由(最も大きな理由)として挙げられたのは「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで12.2%。次いで「健康上出来ないと思ったから」(9.3%)、「なんとなく不安だから」(8.4%)、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(7.4%)、「恐怖心」(6.3%)などが1割弱で続く。また献血をしたことがない理由が「わからない」人が10.4%にのぼり、1割の人が特別に理由がなく献血に協力した経験がないといえる。
- 職業別では、専業主婦で「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(16.7%)が他の層と比べて高く、トップの理由となっている。一方高校生は、理由が「わからない」人が20.4%と2割にのぼり、他の層と比べて高い。
- 性別では、男性と比べて女性において「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(12.2%)が高く、一方男性は女性に比べて理由が「わからない」人(13.8%)が高い。
- 地域別では、近畿で「なんとなく不安だから」(12.0%)とする割合が他の地域に比べてやや高い。

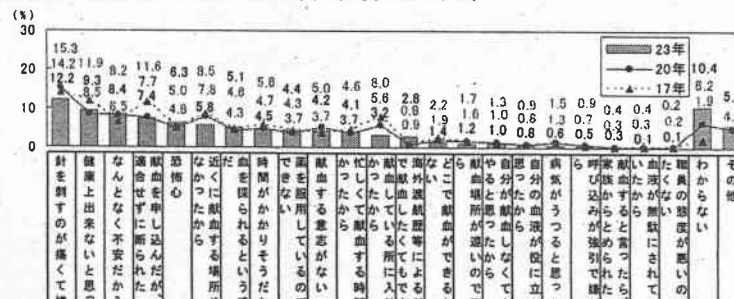
- 過去2回調査と比べると、全体では理由が「わからない」人が17年度調査より上昇傾向にある。
- 職業別では、高校生で理由が「わからない」人が、20年度調査と23年度調査を比べて15ポイント上昇しており顕著。
- 性別では、男性において17年度調査より「わからない」人が上昇傾向にある。
- 地域別では、東北で「近くに献血する場所や機会がなかったから」「献血している所に入りづらかったから」が20年度調査と比べて低下している。



(1) 1位<最も大きな理由> (Q19)

Q19. 献血したことがないのはどのような理由からですか。

理由の大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

属性	23年	20年	17年
全体	122,938	153,885	142,119
高校生	109,189	152,248	131,932
大学生・専門学校生	137,898	182,739	170,832
会社員	122,103	153,880	142,128
公務員	97,968	109,948	111,115
自営業	119,107	134,552	116,115
専業主婦	102,130	137,118	119,148
その他	117,129	156,121	138,124
男性	123,735	139,831	134,689
女性	122,938	153,885	142,119
北海道	160,798	189,768	193,768
東北	113,125	110,110	126,109
関東甲信越	128,833	154,858	149,123
東海北陸	123,872	140,966	111,128
近畿	110,942	185,698	155,118
中国・四国	121,118	160,102	142,149
九州・沖縄	108,967	148,678	163,874

注: 17年は「その他」の回答者なし。

7. 献血するきっかけとなり得る要因

【未経験者編】



(2) 1位~3位累計 (Q20)

【きっかけとなり得る要因(累計)は「針の痛みを和らげる」が2割強】

- 献血をするきっかけになり得る要因を1~3位の累計で見ると、「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」が最も高く24.2%。僅差で「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」(23.5%)、「献血したときの処遇品(記念品)が良かった」(22.0%)、「家族や友人などから勧められた」(21.8%)が続く。
- 職業別では、高校生で「家族や友人などから勧められた」(27.6%)、「献血できる場所が分かった」(17.1%)が他の層と比べて高く、一方「献血したときの処遇品(記念品)が良かった」(16.4%)、「献血ルームのサービスが良かった」(9.7%)が他の層と比べて低い。大学生・専門学校生においても「家族や友人などから勧められた」(25.2%)が他の層と比べて高く、学生は身近な人からの勧めが重要なきっかけになると考えられる。
- 性別では、男性で「献血は絶対しない」(20.7%)の割合が女性と比べて7ポイント高い。
- 地域別では、関東甲信越で「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」(15.8%)、「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」(8.7%)が他の地域と比べてやや低い。一方、東北北陸と九州・沖縄では「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」と「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」が他の地域と比べてやや高い。

- 20年度調査と比べると、全体では「献血したときの処遇品(記念品)が良かった」、「献血ルームのサービスが良かった」がそれぞれ8ポイント以上上昇している。「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」は17年度調査より低下傾向である。
- 職業別、性別では、各層で20年度調査と比べて「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が低下し、「献血したときの処遇品(記念品)が良かった」と「献血ルームのサービスが良かった」が上昇している。
- 地域別では、北海道と東北で「献血が自分の健康管理の役に立つようになった」が17年度調査より低下傾向にある。

＜参考：献血するきっかけとなり得る項目(具体例と理由)＞

献血したときの処遇品(記念品)が良かった 具体例(記載が多かったもの)	献血ルームのサービスが良かった具体例 (記載が多かったもの)	献血は絶対しない理由 (記載が多かったもの)
お菓子がよかった	飲食のサービスがよかった	貧血体質だから
食べ物/栄養補助食品の提供	くつろげる/リラックスできる	健康上の問題
図書カード	職員の態度がよい	薬を服用しているから
現金支給	清潔/きれい/明るい	注射自体が苦手だから
飲料がよかった/飲み物の提供	献血中、待ち時間を快適に過ごせるような工夫がなされている	怖いから
実用性のあるもの/役にたつもの/使えるもの	本、雑誌、漫画が読める	なんとなく
商品券	雰囲気が良い	献血のことがよくわからないから
Quoカード	DVD、テレビが見られる	血をあげるのが嫌
よい記念品、グッズ/非売品のもの	献血後のケアが万全	必要な体重を満たしていない
ギフト券	カフェ感があるとよい	

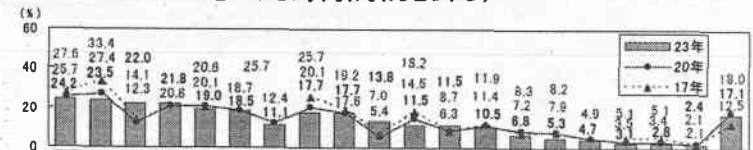
7. 献血するきっかけとなり得る要因

【未経験者編】



(2) 1位~3位累計 (Q20)

Q20. あなたが献血するきっかけとなり得る項目を選択してください。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数：対象者全員】

職業別	23年	20年	17年	23年	20年	17年	23年	20年	17年	23年	20年	17年
全体	(5900)	(5900)	(5000)	24.2	23.5	22.0	21.8	19.0	18.5	11.1	17.7	17.7
高校生	(626)	(626)	(398)	24.9	23.7	16.4	27.6	19.8	18.7	10.1	8.8	17.9
大学生・専門学校生	(1484)	(1484)	(922)	26.3	24.0	25.0	25.2	18.8	17.7	11.1	17.3	19.8
会社員	(1388)	(1388)	(1545)	22.1	24.5	20.3	19.3	19.8	19.9	9.9	19.2	17.8
公務員	(104)	(104)	(85)	21.2	19.3	23.9	19.2	12.5	17.3	14.4	23.1	14.4
自営業	(168)	(134)	(115)	25.0	21.4	21.4	14.3	19.8	18.8	13.1	18.1	13.8
専業主婦	(423)	(423)	(656)	20.1	24.1	24.4	20.1	17.9	16.0	11.1	23.8	18.4
その他	(797)	(703)	(999)	24.7	21.7	22.0	17.2	18.7	18.7	13.2	20.6	14.7
男性	(2548)	(2556)	(1688)	23.2	20.1	23.8	19.9	19.0	16.3	10.9	16.5	15.5
女性	(2452)	(2444)	(3312)	25.2	27.0	20.1	23.7	19.0	20.8	11.4	19.0	20.0
北海道	(306)	(321)	(300)	22.3	21.8	20.8	24.8	20.9	18.4	11.7	13.6	17.5
東北	(359)	(355)	(350)	21.0	21.9	18.4	22.1	19.8	20.7	10.6	18.4	18.1
関東甲信越	(1825)	(1825)	(1800)	24.9	23.7	21.8	19.8	17.8	15.8	8.7	17.4	17.6
東北北陸	(788)	(780)	(750)	25.4	22.4	20.7	23.3	17.7	22.3	14.1	15.5	17.7
近畿	(816)	(816)	(850)	24.5	28.7	22.0	22.9	19.7	18.8	10.7	20.2	17.9
中国・四国	(431)	(431)	(450)	23.0	20.0	19.5	22.0	20.9	19.3	13.2	20.9	17.6
九州・沖縄	(593)	(583)	(600)	23.3	25.4	20.1	22.8	21.1	22.1	14.2	18.2	17.8

注：17年は「家族や友人などから勧められた」「好きなブランドがキャンペーンに採用されていた」の回答がなし。
「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」は17年は「近くに献血する場所ができた」のみ。

8. 初めての献血について

【未経験者編】



(1) 初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q21)

<新規質問>

【初めての献血で400ml献血することに抵抗がある人は7割弱】

- 初めての献血で400ml献血することに抵抗を感じるかたずねたところ、「どちらかというとはい(どちらかというと抵抗がある)」が36.9%を占め、「はい(抵抗がある)」(30.8%)と合わせると抵抗がある人は67.7%で3人中2人の割合であった。一方、「どちらかというといいえ(どちらかというと抵抗がない)」(15.3%)と「いいえ(抵抗がない)」(17.0%)を合わせた抵抗がない人は32.3%で3人中1人であった。
- 職業別では、専業主婦で抵抗がある人の割合(76.5%)が他の層と比べて高く、一方自営業(62.5%)では他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の抵抗がある人の割合(71.2%)が男性(64.4%)と比べて7ポイント上回っている。
- 地域別では、九州・沖縄で「はい(抵抗がある)」と回答している人の割合(64.5%)がやや低い。

8. 初めての献血について

【未経験者編】



(1) 初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q21)

Q21. 血液の有効かつ安全な活用のため、現在では400mLを推奨していますが、仮にあなたが初めて献血する場合、200mLではなく400mLの献血に抵抗を感じますか。

	(N)	(%)				抵抗がある(計)	抵抗がない(計)
		はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ		
全体	(5000)	30.8	36.9	15.3	17.0	67.7	32.3
職業別							
高校生	(642)	27.4	39.9	14.3	18.4	67.3	32.7
大学生・専門学校生	(1597)	30.4	37.0	16.2	16.4	67.4	32.6
会社員	(1368)	33.0	33.6	15.8	17.6	66.6	33.4
公務員	(104)	34.6	29.8	17.3	18.3	64.4	35.6
自営業	(168)	25.0	37.5	15.5	22.0	62.5	37.5
専業主婦	(324)	36.1	40.4	9.3	14.2	76.5	23.5
その他	(797)	29.4	39.4	15.4	15.8	68.8	31.2
性別							
男性	(2548)	29.0	35.4	16.8	18.9	64.4	35.7
女性	(2452)	32.7	38.5	13.7	15.0	71.2	28.7
地域別							
北海道	(206)	29.6	36.4	17.5	16.5	66.0	34.0
東北	(353)	33.7	33.4	15.9	17.0	67.1	32.9
関東甲信越	(1825)	31.9	38.0	14.0	16.1	69.9	30.1
東海北陸	(786)	31.4	35.9	17.4	15.3	67.3	32.7
近畿	(816)	29.2	37.5	15.2	18.1	66.7	33.3
中国・四国	(431)	32.7	34.6	13.7	19.0	67.3	32.7
九州・沖縄	(583)	26.2	38.3	16.3	19.2	64.5	35.5

9. 家族・友人の献血状況

【未経験者編】



(1) 家族の献血の有無 (Q22)

【家族が献血している姿を見た経験がある人は1割強】

- 家族が献血している姿を見たことが「ある」という人は11.0%で1割強にとどまる。
- 職業別では、専業主婦で見たことが「ある」人は17.3%で、他の層と比べて高い。
- 性別では、見たことが「ある」人は男性(8.4%)と比べて女性(13.8%)の方が5ポイント上回る。
- 地域別では、北海道で見たことが「ある」(7.3%)人の割合が他の地域に比べてやや低い。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 属性別でも、20年度調査と比べて概ね大きな変化はみられない。

9. 家族・友人の献血状況

【未経験者編】



(1) 家族の献血の有無 (Q22)

Q22. ご家族が献血している姿を見たことがありますか。

【基数:対象者全員】		(%)		
		ある	ない	おぼえていない
全体	23年 (5000)	11.0	77.4	11.6
	20年 (5000)	10.6	80.0	9.4
高校生	23年 (842)	12.6	75.5	11.8
	20年 (826)	15.5	74.1	10.4
大学生・専門学校生	23年 (1597)	11.1	77.1	11.7
	20年 (1484)	10.4	79.8	9.8
会社員	23年 (1368)	10.3	78.1	11.5
	20年 (1545)	8.8	81.6	9.6
職業別 公務員	23年 (104)	9.6	81.7	8.7
	20年 (85)	11.8	80.0	8.2
自営業	23年 (168)	8.9	73.2	17.9
	20年 (134)	10.4	78.4	11.2
専業主婦	23年 (324)	17.3	72.5	10.2
	20年 (423)	15.4	79.0	5.7
その他	23年 (797)	8.8	80.6	10.7
	20年 (703)	7.3	83.2	9.5
性別 男性	23年 (2540)	8.4	77.6	14.0
	20年 (2556)	7.4	81.6	11.0
女性	23年 (2452)	13.8	77.2	9.0
	20年 (2444)	13.9	78.3	7.8
地域別 北海道	23年 (206)	7.3	78.7	16.0
	20年 (210)	11.9	77.6	10.5
東北	23年 (353)	13.6	78.2	10.2
	20年 (355)	11.8	80.8	7.3
関東甲信越	23年 (1825)	8.9	80.1	11.0
	20年 (1825)	9.0	81.6	9.3
東海北陸	23年 (786)	11.7	76.2	12.1
	20年 (780)	10.6	80.3	9.1
近畿	23年 (816)	12.0	77.0	11.0
	20年 (816)	12.3	78.7	9.1
中国・四国	23年 (431)	12.5	74.2	13.2
	20年 (431)	12.3	77.7	10.0
九州・沖縄	23年 (583)	13.9	74.6	11.5
	20年 (583)	10.3	78.4	11.3

9. 家族・友人の献血状況

【未経験者編】



(2)友人の献血の有無 (Q23)

【献血経験のある友人がいる人は3割強】

- 友達に献血をしている人がいるかたずねたところ、「いる」が32.8%、「いない」が34.8%、「わからない」が32.3%と回答が分かれた。
- 職業別にみると、高校生で献血経験のある友人がいる人は12.9%で1割強にとどまり、他の層と比べて低い。大学生・専門学校生では41.4%、公務員では58.7%が「いる」と回答しており他の層と比べて高い。
- 性別では、「いる」の割合が男性(28.1%)に比べて女性(37.7%)で10ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「いる」が4割弱(38.2%)で他の地域と比べて高い。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べて、公務員で11ポイント「いる」人が上昇する一方、自営業で9ポイント低下している。
- 性別による大きな傾向の変化はみられない。
- 地域別では、北海道で「いる」人が20年度調査と比べて7ポイント低下する一方、九州・沖縄では5ポイント上昇している。

9. 家族・友人の献血状況

【未経験者編】



(2)友人の献血の有無 (Q23)

Q23. あなたのお友達に献血をしている人はいますか。

【基数:対象者全員】		(%)		
	(N)	いる	いない	わからない
全体	23年 (5000)	32.8	34.8	32.3
	20年 (5000)	33.4	34.1	32.5
高校生	23年 (642)	12.9	51.4	35.7
	20年 (626)	12.1	48.4	39.5
大学生・専門学校生	23年 (1597)	41.4	30.1	28.6
	20年 (1484)	40.3	31.5	28.2
会社員	23年 (1308)	36.2	32.4	31.4
	20年 (1545)	37.3	31.1	31.6
職業別	23年 (104)	58.7	24.0	17.3
	20年 (85)	48.2	25.9	25.9
自営業	23年 (168)	21.4	33.9	44.6
	20年 (134)	29.9	34.3	35.8
専業主婦	23年 (324)	34.3	29.9	35.8
	20年 (423)	36.6	31.0	32.4
その他	23年 (797)	24.5	38.9	36.6
	20年 (703)	26.2	36.6	37.3
性別	23年 (2548)	28.1	36.4	35.5
	20年 (2556)	28.4	36.2	35.4
女性	23年 (2452)	37.7	33.2	29.0
	20年 (2444)	38.7	32.0	29.3
地域別	23年 (206)	34.0	34.0	32.0
	20年 (210)	41.4	31.0	27.6
東北	23年 (353)	38.2	33.1	28.6
	20年 (355)	39.7	31.5	28.7
関東甲信越	23年 (1825)	32.4	36.3	31.3
	20年 (1825)	33.6	33.5	32.9
東海北陸	23年 (786)	28.8	36.8	34.5
	20年 (780)	28.7	38.8	32.4
近畿	23年 (815)	33.1	33.5	33.5
	20年 (815)	33.2	35.3	31.5
中国・四国	23年 (431)	31.8	33.6	34.6
	20年 (431)	34.8	34.1	31.1
九州・沖縄	23年 (583)	36.5	31.9	31.6
	20年 (583)	31.6	31.0	37.4

10. 献血に関する資料評価

【未経験者編】



(1) 献血の必要性への理解が良くなったか (Q24-1)

【資料を読んで献血の必要性への理解が良くなった人は8割強】

- 献血に関する資料の閲読後に、献血の必要性への理解が良くなったかをたずねたところ、「はい(良くなった)」が27.6%で「どちらかというとはい(どちらかというといと良くなった)」が57.1%。両者を合わせると、理解が良くなった人は84.7%にのぼる。
- 職業別では、理解が良くなった人の割合は専業主婦(89.2%)と大学生・専門学校生(87.6%)で他の層と比べて高い。一方、会社員、公務員、自営業といった勤労者ではやや評価が低い傾向にある。
- 性別では、女性の理解が良くなった人の割合(88.9%)が、男性(80.6%)に比べて8ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で理解が良くなった人の割合が90.7%にのぼり、他の地域と比べて高い一方、北海道(81.1%)と関東甲信越(82.4%)では他の地域に比べて評価が低い。

- 20年度調査と比べると、全体では理解が良くなった人の割合が7ポイント低下し、評価が低くなっている。
- 職業別では、20年度調査と比べて各層で評価が低くなっているが、特に専業主婦で「はい(良くなった)」の割合が12ポイント低下している。
- 性別では、男性も女性もともに「はい(良くなった)」の割合が20年度調査と比べて6ポイント程度低下している。
- 地域別では、東北以外の地域で20年度調査と比べて、理解が良くなった人の割合が5ポイント以上低下している。

10. 献血に関する資料評価

【未経験者編】



(1) 献血の必要性への理解が良くなったか (Q24-1)

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

1) 献血の必要性への理解は良くなりましたか。

【基数:対象者全員】

	(N)	(%)			はい (計)	いいえ (計)
		はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ		
全 体	23年 (5000)	27.6	57.1	84.7	15.3	84.7
	20年 (5000)	34.0	57.8	91.7	8.3	91.7
	17年 (5000)	19.5	68.2	87.7	12.3	87.7
高校生	23年 (642)	30.1	52.5	82.6	17.4	82.6
	20年 (629)	32.3	58.5	90.7	9.3	90.7
	17年 (398)	22.4	65.1	87.4	12.6	87.4
大学生・専門学校生	23年 (1597)	29.5	56.1	87.6	12.4	87.6
	20年 (1484)	34.5	58.0	92.5	7.5	92.5
	17年 (932)	19.8	68.8	88.6	11.4	88.6
会社員	23年 (1388)	25.1	56.6	81.7	18.1	81.7
	20年 (1545)	32.2	58.8	91.0	9.0	91.0
	17年 (1596)	17.4	70.0	87.4	12.6	87.4
公務員	23年 (104)	25.0	53.8	80.8	19.3	80.8
	20年 (85)	31.8	61.2	92.9	7.1	92.9
	17年 (104)	21.2	70.2	91.3	8.7	91.3
自営業	23年 (168)	22.6	67.1	79.7	20.2	79.7
	20年 (134)	32.1	54.5	86.6	13.4	86.6
	17年 (115)	26.1	67.8	93.9	6.1	93.9
専業主婦	23年 (324)	31.5	57.0	89.2	10.8	89.2
	20年 (423)	43.7	51.5	95.3	4.7	95.3
	17年 (856)	20.1	68.3	88.4	11.6	88.4
その他	23年 (797)	25.8	59.1	84.9	15.1	84.9
	20年 (703)	33.0	58.3	91.3	8.7	91.3
	17年 (999)	19.9	65.7	85.6	14.4	85.6
性別	23年 (2548)	23.4	57.2	80.6	19.5	80.6
	20年 (2556)	29.6	59.3	88.9	11.1	88.9
	17年 (1688)	17.3	66.4	85.7	14.4	85.7
女性	23年 (2452)	31.9	57.0	88.9	11.1	88.9
	20年 (2444)	38.5	55.2	94.7	5.3	94.7
	17年 (3312)	20.6	68.1	88.7	11.3	88.7
北海道	23年 (206)	24.3	56.8	81.1	19.0	81.1
	20年 (210)	35.7	55.2	91.0	9.0	91.0
	17年 (200)	24.0	64.0	88.0	12.0	88.0
東北	23年 (353)	32.6	58.1	90.7	9.3	90.7
	20年 (355)	32.1	60.0	92.1	7.9	92.1
	17年 (350)	16.9	66.9	83.7	16.3	83.7
関東甲信越	23年 (1825)	24.8	57.8	82.4	17.6	82.4
	20年 (1825)	32.1	58.6	90.7	9.3	90.7
	17年 (1800)	19.6	67.9	87.6	12.4	87.6
東海北陸	23年 (786)	27.5	57.0	85.1	14.9	85.1
	20年 (780)	33.6	57.3	90.9	9.1	90.9
	17年 (750)	17.7	70.8	88.5	11.5	88.5
近畿	23年 (816)	29.2	55.8	85.0	15.1	85.0
	20年 (816)	33.1	60.2	93.3	6.7	93.3
	17年 (850)	20.6	67.8	88.4	11.6	88.4
中国・四国	23年 (431)	29.0	67.3	86.3	13.7	86.3
	20年 (431)	33.6	58.2	91.9	8.1	91.9
	17年 (450)	17.6	69.6	87.1	12.9	87.1
九州・沖縄	23年 (583)	31.2	55.7	86.9	13.1	86.9
	20年 (583)	42.4	51.6	94.0	6.0	94.0
	17年 (600)	21.3	67.3	88.7	11.4	88.7



(2) 献血に協力する意識の有無 (Q24-2)

【献血に協力する意識がある人は6割弱】

- 献血に関する資料の閲読後に、今は献血に協力する気持ちがあるか否かをたずねたところ、「ある」人の15.6%と、「どちらかというところある」人の43.4%を合わせた意識がある人は59.0%で6割弱を占める。
- 職業別では、意識がある人の割合が公務員(50.0%)、自営業(50.6%)で他の層と比べて低い。
- 性別では、男性の意識がある人の割合(52.6%)が女性(65.7%)に比べて13ポイント下回っている。
- 地域別では、関東甲信越で意識がある人の割合(54.7%)が他の地域に比べてやや低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での意識がある人の割合は6ポイント低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員と自営業で意識がある人の割合の低下が顕著で、10ポイント程度低下している。
- 性別では、20年度調査と比べて、男性で「どちらかというところある」が7ポイント低下し、23年度調査の意識がある人の割合が5割強にとどまった。
- 地域別では、20年度調査と比べると、各層で意識のある人の割合が低下しているが、特に東北、関東甲信越、近畿、中国・四国、九州・沖縄では大きく低下している。



(2) 献血に協力する意識の有無 (Q24-2)

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
2) 今は献血に協力する気持ちはありますか。

【基数:対象者全員】	(N)	(%)				ある(計)	ない(計)
		ある	どちらかというところある	どちらかというところない	ない		
全体	23年 (5000)	15.6	43.4	26.7	14.3	59.0	41.0
	20年 (5000)	16.4	46.8	25.4	9.4	65.2	34.8
	17年 (5000)	13.0	52.0	26.7	8.3	65.0	35.0
高校生	23年 (642)	19.3	43.0	24.1	13.6	62.9	37.7
	20年 (626)	20.9	47.8	23.6	7.7	68.7	31.3
	17年 (398)	22.1	48.5	23.9	5.5	70.6	29.4
大学生・専門学校生	23年 (1597)	16.8	45.5	25.4	12.3	62.3	37.7
	20年 (1484)	16.4	49.8	25.1	9.6	66.2	33.8
	17年 (932)	13.5	52.3	25.1	9.1	65.8	34.2
会社員	23年 (1368)	12.7	43.6	27.9	15.8	55.3	44.7
	20年 (1545)	14.4	50.0	25.2	10.4	64.5	35.5
	17年 (1566)	10.5	53.9	27.2	8.4	64.4	35.6
職業別 公務員	23年 (104)	13.5	36.5	30.8	19.2	50.0	50.0
	20年 (85)	12.9	50.6	30.6	5.9	63.5	36.5
	17年 (104)	15.4	44.2	31.7	8.7	59.6	40.4
自営業	23年 (168)	18.5	32.1	31.5	17.9	50.6	49.4
	20年 (134)	13.4	47.0	28.4	11.2	60.4	39.6
	17年 (115)	16.5	53.0	24.3	6.1	69.6	30.4
専業主婦	23年 (324)	18.5	44.8	24.4	12.3	63.3	36.7
	20年 (423)	19.6	48.9	24.1	7.3	68.6	31.4
	17年 (856)	13.4	54.1	25.1	7.4	67.5	32.5
その他	23年 (797)	13.9	41.8	28.6	15.7	55.7	44.3
	20年 (703)	15.8	44.8	27.3	12.1	60.6	39.4
	17年 (999)	11.9	48.9	29.7	9.4	60.9	39.1
性別 男性	23年 (2548)	11.7	40.9	30.0	17.4	52.8	47.4
	20年 (2558)	12.7	48.1	28.0	11.2	60.8	39.2
	17年 (1688)	10.1	49.4	30.6	9.9	59.5	40.5
女性	23年 (2452)	19.7	46.0	23.2	11.1	65.7	34.3
	20年 (2444)	20.3	49.5	22.6	7.7	69.8	30.2
	17年 (3312)	14.5	53.3	24.8	7.5	67.8	32.2
地域別 北海道	23年 (206)	14.1	45.6	23.8	16.5	59.7	40.3
	20年 (210)	20.5	39.5	25.2	14.8	60.0	40.0
	17年 (200)	15.5	52.0	24.0	8.5	67.5	32.5
東北	23年 (353)	16.4	45.0	25.2	13.3	61.4	38.5
	20年 (365)	17.5	51.8	22.5	8.2	69.3	30.7
	17年 (350)	10.9	52.0	26.9	10.3	62.9	37.2
関東甲信越	23年 (1825)	12.5	42.2	29.1	16.1	54.7	45.2
	20年 (1825)	14.3	46.5	27.9	11.3	60.8	39.2
	17年 (1800)	12.1	51.0	28.6	8.3	63.1	36.9
東海北陸	23年 (786)	17.4	44.3	23.9	14.4	61.7	38.3
	20年 (780)	17.2	48.8	25.5	8.5	65.9	34.0
	17年 (750)	14.9	51.5	24.7	8.9	66.4	33.6
近畿	23年 (816)	16.2	44.0	27.0	12.9	60.2	39.9
	20年 (816)	17.2	48.8	26.7	7.4	66.0	34.1
	17年 (850)	12.2	52.8	26.4	8.8	64.8	35.2
中国・四国	23年 (431)	17.6	42.5	26.9	13.0	60.1	39.9
	20年 (431)	14.6	56.1	20.9	8.4	70.8	29.2
	17年 (450)	13.3	46.7	30.9	7.1	62.0	38.0
九州・沖縄	23年 (583)	20.8	43.7	24.2	11.3	64.5	35.5
	20年 (583)	20.2	51.8	20.4	7.5	72.0	28.0
	17年 (600)	14.5	57.3	22.0	6.2	71.8	28.2

10. 献血に関する資料評価

【未経験者編】



(3) 今後の献血意向喚起 (Q24-3)

【今後の献血意向が喚起された人は4割強】

- 献血に関する資料の閲読後に、今後、実際に献血に行くかをたずねたところ、「はい(行く)」の7.5%と、「どちらかというとはい(どちらかというで行く)」の36.9%を合わせた意向ありの人は44.4%。4割強の回答者が献血への意向を喚起されている。
- 職業別では、意向ありの人の割合は高校生(49.6%)で高く、半数近くが意向を喚起されている。対して公務員(32.7%)や自営業(33.9%)は他の層と比べて喚起されている割合が低い。
- 性別では、男性の意向ありの割合(39.6%)が女性(49.4%)に比べて10ポイント下回っている。
- 地域別では、関東甲信越の意向ありの割合(39.0%)が他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での意向ありの割合は低下傾向にある。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員、自営業、専業主婦で意向ありの割合が7ポイント以上低下している。
- 性別では、過去2回調査と比べると、男性で意向ありの割合が低下傾向にある。
- 地域別では、関東甲信越、中国・四国、九州・沖縄で意向ありの割合が20年度調査と比べて5ポイント以上低下している。

10. 献血に関する資料評価

【未経験者編】



(3) 今後の献血意向喚起 (Q24-3)

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

3) 今後、実際に献血に行きますか。

【基数:対象者全員】	(N)	意向			はい(計)	いいえ(計)
		はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ		
全体	23年 (5000)	7.5	36.9	35.4	44.4	55.6
	20年 (5000)	6.1	41.3	36.4	47.4	52.6
	17年 (5000)	5.5	44.0	37.2	49.5	50.5
高校生	23年 (642)	10.7	39.9	32.1	49.6	50.3
	20年 (626)	8.8	43.5	35.6	52.2	47.8
	17年 (398)	10.6	48.2	33.7	56.8	43.2
大学生・専門学校生	23年 (1597)	8.1	39.9	33.9	48.0	52.0
	20年 (1484)	6.5	49.3	35.4	49.9	50.1
	17年 (932)	6.7	44.4	35.2	51.1	48.9
会社員	23年 (1368)	6.4	36.7	35.8	43.1	56.9
	20年 (1545)	4.9	41.2	36.9	46.1	53.9
	17年 (1596)	4.0	44.6	37.3	48.6	51.4
公務員	23年 (104)	5.8	26.9	42.3	32.7	67.3
	20年 (85)	4.7	42.4	41.2	47.1	53.0
	17年 (104)	7.7	35.5	41.3	44.2	55.8
自営業	23年 (168)	7.1	26.8	44.6	33.9	66.0
	20年 (134)	7.1	39.6	38.8	41.8	58.2
	17年 (115)	7.0	47.6	35.7	54.8	45.2
専業主婦	23年 (324)	6.8	36.4	35.5	43.2	56.8
	20年 (423)	8.7	42.1	34.3	50.8	49.2
	17年 (856)	5.1	48.4	34.5	53.5	46.5
その他	23年 (797)	6.3	33.1	37.4	39.4	60.6
	20年 (703)	4.6	35.3	38.5	39.8	60.2
	17年 (999)	4.6	36.5	42.2	43.1	56.9
男性	23年 (2546)	5.8	33.8	37.7	39.6	60.4
	20年 (2556)	4.1	40.7	38.0	44.8	55.2
	17年 (1688)	5.1	41.2	39.1	46.3	53.7
女性	23年 (2452)	9.3	40.1	33.0	49.4	50.6
	20年 (2444)	8.2	42.0	34.7	50.2	49.8
	17年 (3312)	5.7	45.5	36.2	51.2	48.9
北海道	23年 (206)	8.3	38.3	28.6	46.6	53.4
	20年 (210)	11.0	36.2	30.5	47.2	52.9
	17年 (200)	7.0	45.0	34.0	52.0	48.0
東北	23年 (353)	6.5	41.6	31.7	48.1	51.8
	20年 (355)	6.8	49.9	33.5	50.7	49.3
	17年 (350)	6.3	42.3	36.9	48.6	51.4
関東甲信越	23年 (1825)	5.9	33.1	39.0	39.0	61.0
	20年 (1825)	5.0	39.0	37.4	44.1	55.9
	17年 (1800)	4.6	42.4	39.5	47.0	53.0
東海北陸	23年 (786)	7.9	38.4	33.5	46.3	53.7
	20年 (780)	5.1	40.1	39.5	45.3	54.7
	17年 (750)	6.7	43.2	36.7	49.9	50.1
近畿	23年 (816)	9.2	39.6	33.5	48.8	51.3
	20年 (816)	6.6	41.9	39.2	48.5	51.5
	17年 (850)	5.2	45.3	36.0	50.5	49.5
中国・四国	23年 (431)	7.9	36.4	37.8	44.3	55.7
	20年 (431)	4.9	45.4	35.3	51.3	48.7
	17年 (450)	5.8	42.4	40.0	48.2	51.8
九州・沖縄	23年 (583)	9.6	39.8	32.4	49.4	50.6
	20年 (583)	8.6	49.0	31.6	54.5	45.5
	17年 (600)	5.8	50.2	31.5	56.0	44.0



(1)若年層の献血協力意向を高めるアイデア (Q25)

【献血意向を高めるには「処遇品・記念品」、「人気タレント起用」、「PR」等】

- 若年層の献血協力意向を高めるアイデアを自由記述形式でたずねたところ、「処遇品、記念品をよくする／特典をつける」や「報酬をお金にする」といった、献血者に直接メリットがある内容。「人気タレントを使う」や「インターネット、テレビ、雑誌でのPR」など、より興味を引き、アクセスしやすいPR方法を考える必要があるといった内容。また献血が出来る施設に関しては、「気軽に行ける、入りやすい、明るい、親しみを持てる」雰囲気を作り、「人通りの多い、駅前、繁華街、何かのついでや待ち時間にできる」場所で献血が出来る施設を設ける必要があるといった内容が多くあげられた。



(1)若年層の献血協力意向を高めるアイデア (Q25)

Q25. 若い方の献血に協力する気持ちを高めるためには、どのようなことをすればよいと思いますか。広報の方法やキャンペーン、イベント、献血場所などについて具体的なアイデアやイメージなどがあれば自由に記入してください。

【対象者全員】

若年層の献血協力意向を高めるアイデア (記載が多かったもの)
処遇品、記念品をよくする／特典をつける
人気タレントを使う
インターネットでの呼びかけ／インターネット広告／SNSでの呼びかけ
テレビでのPR
気軽に行けるような雰囲気作り／入りやすい雰囲気作り／明るい雰囲気作り／親しみを持てるようにする
学校の授業で取り入れる／学校でのPR
安全性をアピール／恐怖感、抵抗感の払しょく
高校、学校に献血バスがくる
若者が集まる場所に献血コーナーを設ける／若者が集まる場所でキャンペーンをする
献血についての詳しい説明、周知
人通りの多い場所で行う／駅前、繁華街で行う／行きやすい場所で献血できる／何かのついでや待ち時間でできる
献血の重要性、必要性をアピール
有名人が実際に献血している様子を見せる／同年代の人がやっている姿を見せる
注射の痛みが少なくなる
献血することによるメリットを伝える
ボランティアでは限界がある／義務化する
大学キャンパスなどへの出張を増やす／大学でキャンペーンをする
献血イベントの実施／イベント会場に出張
献血によってどれだけ人が救われるかを示せばいい
報酬をお金にする
献血がいつ、どこでやっているかの情報の周知
雑誌でPR
献血ルーム、献血バス自体を増やす
適合基準の見直し／適合基準の明確な表記
病院で献血ができる／健康診断時に献血もできる

Ⅲ. 經驗者編

1. 対象者特性

【経験者編】



(1) 居住地・性別 (SC1/SC3)

- 【居住地】は「関東甲信越」が36.5%を占めており、過去2回調査と同様、中心となっている。以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.7%)の順で続き、全体構成も過去2回調査と概ね変わらない。
- 【性別】は、全体では「男性」50.4%、「女性」49.6%とほぼ半々。20年度調査と概ね変わらない。17年度調査に比べて男性が16ポイント増えている。
- 【年齢】では、20代が9割弱(86.5%)を占めているが、過去2回調査と比べて10代の割合が増えている。
- 【職業】では、「会社員」(40.4%)、「大学生・専門学校生」(29.6%)が中心であり、両層で7割を占める。20年度調査とは概ね同様の傾向となっている。17年度調査に比べて「大学生・専門学校生」が増え、「専業主婦」「その他」が低下した。
- 【医療関係への関与有無】では、「携わっている」と回答した人は17.1%で、過去2回調査と比べて携わっている人の割合が6ポイント増えている。

居住地 (SC1)

		(%)						
		北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄
全 体	23年 (5000)	4.1	7.1	36.5	15.7	16.3	8.6	11.7
	20年 (5000)	4.2	7.1	36.5	15.6	16.3	8.6	11.7
	17年 (5000)	4.0	7.0	36.0	15.0	17.0	9.0	12.0

【基数:対象者全員】

性別 (SC3)

		(%)	
		男性	女性
全 体	23年 (5000)	50.4	49.6
	20年 (5000)	51.1	48.9
	17年 (5000)	34.1	65.9
北海道	23年 (206)	50.5	49.5
	20年 (210)	50.0	50.0
	17年 (200)	28.5	71.5
東北	23年 (353)	50.1	49.9
	20年 (355)	51.0	49.0
	17年 (350)	34.6	65.4
関東甲信越	23年 (1825)	50.1	49.9
	20年 (1825)	51.9	48.1
	17年 (1800)	33.7	66.3
東海北陸	23年 (786)	50.9	49.1
	20年 (780)	51.9	48.1
	17年 (750)	35.5	64.5
近畿	23年 (816)	50.6	49.4
	20年 (818)	50.2	49.8
	17年 (850)	34.9	65.1
中国・四国	23年 (431)	50.3	49.7
	20年 (431)	50.8	49.2
	17年 (450)	32.9	67.1
九州・沖縄	23年 (583)	50.3	49.7
	20年 (583)	49.6	50.4
	17年 (600)	34.8	65.2

【基数:対象者全員】

1. 対象者特性

【経験者編】



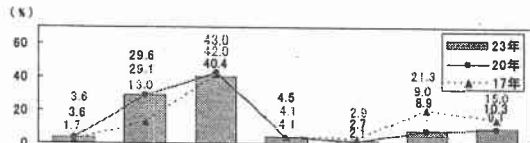
(2)年齢・職業 (SC2/SC4)

年齢 (SC2)		(%)			
		16~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳
全体	23年 (5000)	10.5	43.2	43.2	
	20年 (5000)	8.7	48.7	40.0	
	17年 (5000)	22.2		74.0	
男性	23年 (2518)	10.8	42.9	42.9	
	20年 (2556)	7.4	49.5	40.6	
	17年 (1705)	24.8		71.0	
女性	23年 (2482)	10.5	43.6	43.6	
	20年 (2444)	10.1	47.8	39.4	
	17年 (3295)	20.9		75.5	
北海道	23年 (206)	10.2	43.7	43.7	
	20年 (210)	12.4	47.1	38.8	
	17年 (200)	6.0	27.0	65.5	
東北	23年 (352)	11.0	42.5	42.5	
	20年 (355)	11.0	46.7	37.5	
	17年 (350)	20.3		75.7	
関東甲信越	23年 (1825)	12.4	42.1	42.1	
	20年 (1825)	10.7	45.2	41.4	
	17年 (1800)	26.2		69.4	
東海北陸	23年 (786)	10.8	43.0	43.0	
	20年 (780)	7.6	52.1	39.6	
	17年 (750)	18.7		78.0	
近畿	23年 (816)	8.7	44.9	44.9	
	20年 (816)	8.6	46.9	38.8	
	17年 (850)	22.5		73.9	
中国・四国	23年 (431)	9.7	43.2	43.2	
	20年 (431)	6.5	53.4	37.4	
	17年 (450)	18.7		78.0	
九州・沖縄	23年 (583)	7.4	45.3	45.3	
	20年 (583)	4.4	52.0	43.4	
	17年 (600)	16.7		80.8	

【基数:対象者全員】

職業 (SC4)

【基数:対象者全員】



職業 (SC4)		(%)						
		高校生	大学生・専門学校生	会社員	公務員	自営業	専業主婦	その他
全体	23年 (5000)	3.6	29.6	40.4	4.5	2.7	8.9	10.3
	20年 (5000)	3.6	29.1	43.0	4.1	2.1	9.0	9.1
	17年 (5000)	1.7	13.0	42.0	4.1	2.9	21.3	15.0
男性	23年 (2518)	4.2	33.7	42.9	5.5	3.3	1.7	8.7
	20年 (2556)	3.4	33.0	48.0	5.4	2.7	-	7.6
	17年 (1705)	1.9	19.2	54.4	6.6	4.6	-	13.3
女性	23年 (2482)	3.0	25.5	37.8	3.5	2.1	16.2	11.9
	20年 (2444)	3.6	25.0	37.8	2.9	1.5	18.5	10.7
	17年 (3295)	1.7	9.9	35.6	2.7	2.0	32.4	15.8
北海道	23年 (206)	5.8	28.8	31.1	7.8	1.0	14.1	11.7
	20年 (210)	2.9	32.4	34.8	6.7	3.3	11.0	9.0
	17年 (200)	3.0	15.0	35.5	6.5	2.5	22.0	15.5
東北	23年 (352)	4.5	32.1	35.4	6.5	2.8	6.8	11.6
	20年 (355)	7.6	25.9	39.7	5.6	2.5	7.3	11.3
	17年 (350)	2.0	11.7	41.1	6.6	4.3	21.1	13.1
関東甲信越	23年 (1825)	4.4	30.3	41.6	3.4	2.7	7.8	9.7
	20年 (1825)	3.7	31.1	44.9	2.8	1.8	7.3	7.9
	17年 (1800)	2.0	16.5	43.2	2.6	2.6	18.2	14.9
東海北陸	23年 (786)	3.2	29.0	42.0	5.2	2.8	10.3	7.5
	20年 (780)	3.3	25.1	46.4	3.2	1.8	11.7	7.8
	17年 (750)	1.5	8.5	44.5	4.0	2.7	26.7	12.1
近畿	23年 (816)	2.2	30.0	40.1	3.8	2.8	7.8	13.7
	20年 (816)	4.0	33.1	39.3	3.8	2.3	8.6	9.1
	17年 (850)	1.9	14.5	39.1	3.4	2.1	21.6	17.4
中国・四国	23年 (431)	3.0	26.5	39.9	5.8	3.0	10.9	10.9
	20年 (431)	3.7	25.1	41.8	6.7	1.4	9.7	11.1
	17年 (450)	0.9	9.3	44.4	6.9	2.9	20.9	14.7
九州・沖縄	23年 (583)	2.6	28.8	41.3	5.0	2.7	9.9	9.6
	20年 (583)	1.0	25.1	43.9	6.3	3.3	8.9	11.5
	17年 (600)	1.2	9.2	40.2	5.0	4.3	23.8	16.3

1. 対象者特性

【経験者編】



(3)医療関係への関与有無 (SC5)

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

医療関係への関与有無 (SC5)		(%)	
		はい	いいえ
全体	23年 (5000)	17.1	82.9
	20年 (5000)	11.0	89.0
	17年 (5000)	10.0	90.0
高校生	23年 (180)	13.9	86.1
	20年 (181)	7.2	92.8
	17年 (87)	4.6	95.4
大学生・専門学校生	23年 (1481)	23.8	76.2
	20年 (1453)	14.1	85.9
	17年 (652)	16.0	84.0
会社員	23年 (2019)	15.8	84.2
	20年 (2152)	10.4	89.6
	17年 (2099)	11.3	88.7
公務員	23年 (225)	26.7	73.3
	20年 (207)	17.4	82.6
	17年 (203)	15.3	84.7
自営業	23年 (135)	8.1	91.9
	20年 (106)	9.4	90.6
	17年 (143)	4.9	95.1
専業主婦	23年 (444)	7.4	92.6
	20年 (448)	5.8	94.2
	17年 (1067)	6.1	93.9
その他	23年 (516)	10.7	89.3
	20年 (453)	8.6	91.4
	17年 (749)	6.9	93.1
男性	23年 (2518)	15.8	84.2
	20年 (2556)	8.8	91.2
	17年 (1705)	7.0	93.0
女性	23年 (2482)	18.4	81.6
	20年 (2444)	13.3	86.7
	17年 (3295)	11.6	88.4
北海道	23年 (206)	21.8	78.2
	20年 (210)	14.8	85.2
	17年 (200)	14.0	86.0
東北	23年 (352)	15.3	84.7
	20年 (355)	14.9	85.1
	17年 (350)	9.1	90.9
関東甲信越	23年 (1825)	13.8	86.2
	20年 (1825)	9.1	90.9
	17年 (1800)	8.6	91.4
東海北陸	23年 (786)	20.1	79.9
	20年 (780)	11.3	88.7
	17年 (750)	9.9	90.1
近畿	23年 (816)	16.2	83.8
	20年 (816)	10.5	89.5
	17年 (850)	10.1	89.9
中国・四国	23年 (431)	21.3	78.7
	20年 (431)	12.1	87.9
	17年 (450)	11.3	88.7
九州・沖縄	23年 (583)	20.9	79.1
	20年 (583)	13.0	87.0
	17年 (600)	12.5	87.5

2. 献血に関する認知・関心度

【経験者編】



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

【献血が病気の治療に役立っていることの認知率は7割弱】

- 献血がさまざまな病気の治療に役立っていることの認知率は66.4%。献血経験者の3人中2人が認知している。
- 職業別では、専業主婦の認知率(57.4%)が他の層と比べて低く6割弱。一方公務員(72.4%)と大学生・専門学校生(71.6%)で認知率が他の層と比べて高く、7割を超える。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道での認知率が高く73.3%。その他の地域は概ね変わらず65%前後。

- 20年度調査と比べると、全体での治療に役立っていることへの認知率は大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べて、自営業で認知率が5ポイント上昇している。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、20年度調査と比べて、東北で認知率が5ポイント低下している。その他の地域には大きな変化はみられない。

2. 献血に関する認知・関心度

【経験者編】



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

Q1. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)	知っている	知らない	
全体	23年	(5000)	66.4	33.6	
	20年	(5000)	65.9	34.1	
高校生	23年	(180)	68.9	31.1	
	20年	(181)	64.6	35.4	
大学生・専門学校生	23年	(1481)	71.6	28.4	
	20年	(1453)	69.9	30.1	
会社員	23年	(2019)	64.3	35.7	
	20年	(2152)	64.9	35.1	
公務員	23年	(225)	72.4	27.6	
	20年	(207)	75.8	24.2	
自営業	23年	(135)	66.7	33.3	
	20年	(106)	61.3	38.7	
専業主婦	23年	(444)	57.4	42.6	
	20年	(448)	58.7	41.3	
その他	23年	(316)	64.1	35.9	
	20年	(453)	61.8	38.2	
性別	23年	(2518)	67.6	32.4	
	20年	(2556)	65.5	34.5	
女性	23年	(2482)	65.2	34.8	
	20年	(2444)	66.3	33.7	
地域別	23年	(206)	73.3	26.7	
	20年	(210)	70.0	30.0	
北海道	23年	(206)	73.3	26.7	
	20年	(210)	70.0	30.0	
東北	23年	(353)	64.0	36.0	
	20年	(355)	68.5	31.5	
関東甲信越	23年	(1825)	66.4	33.6	
	20年	(1825)	62.5	37.5	
東海北陸	23年	(786)	64.6	35.4	
	20年	(780)	67.7	32.3	
近畿	23年	(816)	66.3	33.7	
	20年	(816)	68.1	31.9	
中国・四国	23年	(431)	66.4	33.6	
	20年	(431)	66.4	33.6	
九州・沖縄	23年	(583)	68.3	31.7	
	20年	(583)	67.6	32.4	

2. 献血に関する認知・関心度

【経験者編】



(2) 輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なることを知っているか (Q2)

<新規質問>

【献血が絶えず必要なことの認知率は7割強】

- 献血が輸血用血液製剤の有効期限が短いために絶えず必要であることの認知率は、72.1%で7割強を占める。
- 職業別では、大学生・専門学校生(77.2%)と公務員(76.9%)の認知率が他の層と比べて高い一方、高校生では62.8%にとどまり低い。
- 性別では、男性の認知率(68.3%)に比べて、女性の認知率(76.0%)が8ポイント高い。
- 地域別では、各地域で7割以上の認知率がある。

2. 献血に関する認知・関心度

【経験者編】



(2) 輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なることを知っているか (Q2)

Q2. 献血された輸血用血液製剤の有効期間は短く、絶えず献血が必要なることを知っていますか。
※血液製剤の有効期間は一番短い血小板製剤で採血後4日間、赤血球製剤は21日間です。

【基数:対象者全員】

		(N)	知っている	知らない
職業別	全体	(5000)	72.1	27.9
	高校生	(180)	62.8	37.2
	大学生・専門学校生	(1481)	77.2	22.8
	会社員	(2019)	70.0	30.0
	公務員	(225)	76.9	23.1
	自営業	(135)	65.9	34.1
	専業主婦	(444)	70.7	29.3
	その他	(516)	70.0	30.0
	性別	男性	(2518)	68.3
女性	(2482)	76.0	24.0	
地域別	北海道	(206)	74.8	25.2
	東北	(353)	70.0	30.0
	関東甲信越	(1825)	71.2	28.8
	東海北陸	(786)	71.2	28.8
	近畿	(816)	71.0	29.0
	中国・四国	(431)	74.5	25.5
	九州・沖縄	(583)	76.5	23.5



(3) 献血された輸血用血液製剤の使い道認知 (Q3)

<新規質問>

【輸血用血液製剤の使い道の認知率は3割強】

- 献血された輸血用血液製剤の使い道の認知率は34.7%で、3人中1人が認知している。
- 職業別では、高校生の認知率(45.0%)が他の層と比べて高く、半数近くが認知している。一方、専業主婦(27.0%)と自営業(28.9%)は他の層と比べると認知率が低い。
- 性別では、男性の認知率(36.8%)が女性の認知率(32.6%)に比べてやや高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。



(3) 献血された輸血用血液製剤の使い道認知 (Q3)

Q3. 献血された輸血用血液製剤の使い道は、交通事故などの大量出血時よりもがんなどの病気の治療に使われることが圧倒的に多いことを知っていますか。

※約8割が病気(うちがんの治療3割)に使われ、交通事故などによる輸血は約1割程度。

【基数:対象者全員】

		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	34.7	65.3
職業別	高校生	(180)	45.0	55.0
	大学生・専門学校生	(1481)	38.1	61.9
	会社員	(2019)	35.1	64.9
	公務員	(225)	39.6	60.4
	自営業	(135)	28.9	71.1
	専業主婦	(444)	27.0	73.0
	その他	(516)	25.8	74.2
性別	男性	(2518)	36.8	63.2
	女性	(2482)	32.6	67.4
地域別	北海道	(206)	33.0	67.0
	東北	(353)	31.7	68.3
	関東甲信越	(1825)	33.7	66.3
	東海北陸	(786)	35.6	64.4
	近畿	(816)	35.5	64.5
	中国・四国	(431)	36.9	63.1
	九州・沖縄	(583)	36.4	63.6



(4) 輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験 (Q4)

<新規質問>

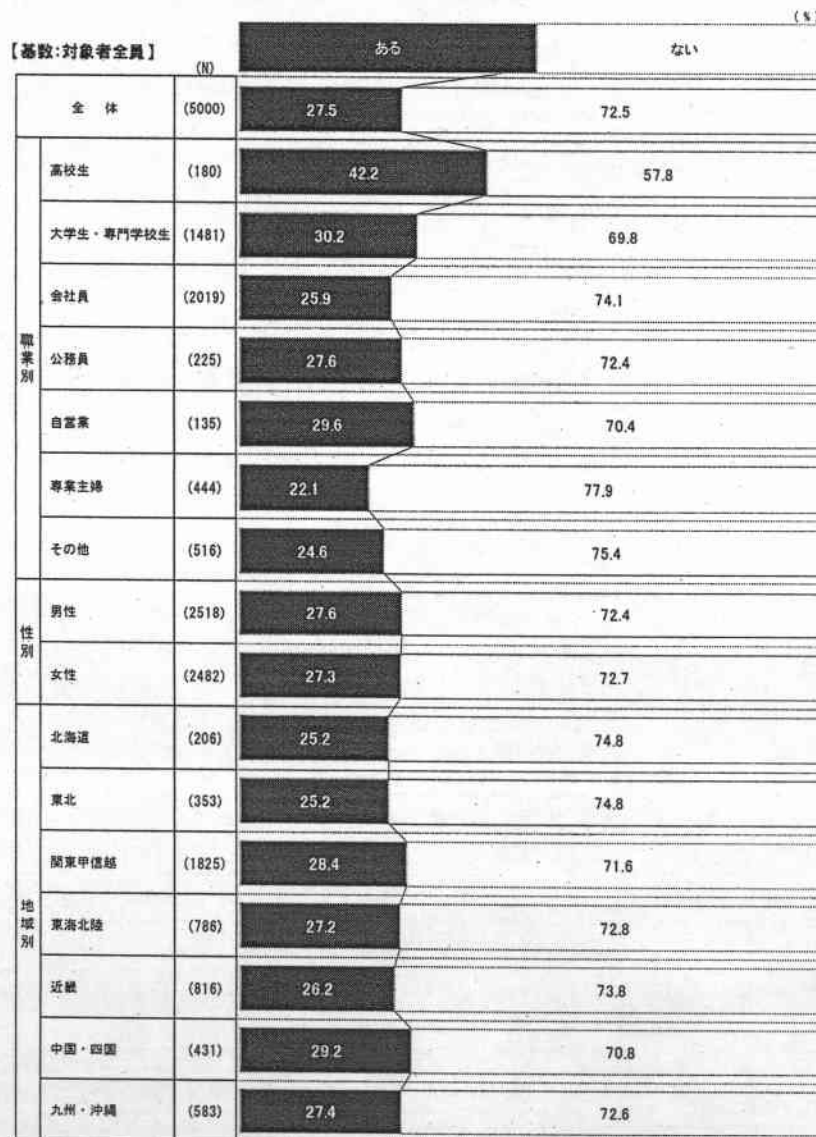
【患者の感謝の気持ちを目や耳にした人は3割弱】

- 輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験のある人は27.5%。
- 職業別では、高校生の経験率が42.2%と他の層と比べて高い。次いで大学生・専門学校生の経験率が高く、30.2%を占め、3人中1人が経験している。
- 性別では、男女で大きな差はみられない。
- 地域別では、大きな差はみられない。



(4) 輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験(Q4)

Q4. 輸血の医療を受けられた多くの患者さんは、献血をしてくれた方に感謝(献血してくれてありがとう)の気持ちを持っています。そのような声を目や耳にしたことはありますか。





(5)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q5)

【若年層の献血協力者が減少していることの認知率は5割強】

- 献血へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」人は52.9%で半数を占める。
- 職業別では、大学生・専門学校生の認知率(58.6%)が他の層に比べて高い一方、専業主婦では43.9%にとどまり他の層と比べると低い。
- 性別では、男女で大きな差はみられない。
- 地域別では、東北(47.6%)、関東甲信越(51.0%)、東海北陸(49.2%)での認知率が低く、その他の地域での認知率は6割近くにのぼる。

- 20年度調査と比べると、全体での認知率は大きく変わらない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、専業主婦の認知率が9ポイント、自営業の認知率が7ポイント低下している。
- 性別では、20年度調査と比べて、男性の認知率には変化がなく、女性の認知率がやや低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べて、東北の認知率が15ポイント低下しており顕著である。



(5)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q5)

Q5. 献血へ協力してくださる若い方の数が、近年大幅に減っています(*). 知っていましたか。
 *最近5年間で、20代の献血者数は140万人から108万人(23%減)に、10代の献血者数は48万人から29万人(40%減)も減少しています。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体	23年	(5000)	52.9	47.1
	20年	(5000)	55.3	44.7
高校生	23年	(180)	53.3	46.7
	20年	(181)	56.9	43.1
大学生・専門学校生	23年	(1481)	58.6	41.4
	20年	(1453)	55.5	44.5
会社員	23年	(2019)	50.4	49.6
	20年	(2152)	55.1	44.9
公務員	23年	(225)	55.1	44.9
	20年	(207)	60.4	39.6
自営業	23年	(135)	49.9	51.1
	20年	(106)	55.7	44.3
専業主婦	23年	(444)	43.9	56.1
	20年	(448)	53.1	46.9
その他	23年	(516)	54.3	45.7
	20年	(453)	54.3	45.7
性別	23年	(2518)	54.1	45.9
	20年	(2556)	54.7	45.3
女性	23年	(2482)	51.7	48.3
	20年	(2444)	55.9	44.1
北海道	23年	(206)	57.3	42.7
	20年	(210)	52.9	47.1
東北	23年	(353)	47.6	52.4
	20年	(355)	62.8	37.2
関東甲信越	23年	(1825)	51.0	49.0
	20年	(1825)	52.8	47.2
東海北陸	23年	(786)	49.2	50.8
	20年	(760)	56.0	44.0
近畿	23年	(816)	56.9	43.1
	20年	(816)	54.8	45.2
中国・四国	23年	(431)	57.1	42.9
	20年	(431)	61.5	38.5
九州・沖縄	23年	(583)	56.9	43.1
	20年	(583)	54.4	45.6

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q6)

【献血に関する広告は「献血バス」「街頭での呼びかけ」の接触が多い】

- 献血に関して接触したことがある広報媒体をみると、「献血バス」が64.7%で最も高く、僅差で「街頭での呼びかけ」(64.1%)、「献血ルーム前の看板・表示」(63.4%)が続き、次いで「テレビ」が51.7%で、以上が主要な接触媒体である。
- 職業別では、各層の主要な接触媒体は「献血バス」「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「テレビ」である。特に「献血バス」は専業主婦で高く71.4%と7割を超える一方、高校生は48.3%にとどまり他の層と比べて低い接触率である。高校生は「献血バス」(48.3%)、「街頭での呼びかけ」(41.1%)、「献血ルーム前の看板・表示」(47.2%)といった現場での接触が他の層と比べると少なく、「テレビ」(56.7%)がトップの接触媒体となっている。また「インターネット」(22.8%)についても他の層と比べて接触率が高い。
- 性別では、女性は「献血バス」(69.9%)、「街頭での呼びかけ」(69.9%)、「献血ルーム前の看板・表示」(70.6%)といった現場での接触率が男性に比べて高い。
- 地域別では、「街頭での呼びかけ」は関東甲信越(68.4%)、東海北陸(64.9%)、近畿(64.2%)で他の地域と比べて高い。一方、「テレビ」は東北(64.9%)、中国・四国(61.9%)、九州・沖縄(57.6%)で高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での各媒体の接触率は総じて低下しており、特に「ポスターの掲示」が18ポイント低下した。20年度調査と23年度調査を比べると、「献血バス」で7ポイント、「インターネット」で5ポイント接触率が上昇した。
- 職業別・性別・地域別のいずれも各層で「献血バス」と「インターネット」の接触率は20年度調査と比べると上昇しており、対して「街頭での呼びかけ」は概ね低下している。

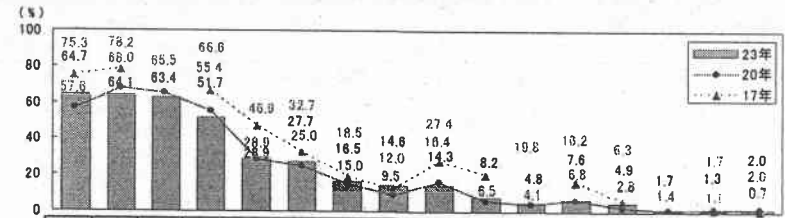
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q6)

Q6. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

職業別	性別	地域別	媒体	接触率 (%)		
				23年	20年	17年
全体	男性	全	献血バス	64.7	64.1	63.4
			街頭での呼びかけ	64.1	63.4	51.7
			献血ルーム前の看板・表示	63.4	51.7	46.9
	女性	全	献血バス	69.9	69.9	70.6
			街頭での呼びかけ	69.9	69.9	68.8
			献血ルーム前の看板・表示	70.6	68.8	57.4
	高校生	全	献血バス	48.3	41.1	47.2
			街頭での呼びかけ	41.1	47.2	56.7
			献血ルーム前の看板・表示	47.2	56.7	28.9
	大学生・専門学校生	全	献血バス	67.4	65.8	66.3
			街頭での呼びかけ	65.8	66.3	52.8
			献血ルーム前の看板・表示	66.3	52.8	33.6
	会社員	全	献血バス	59.4	63.1	61.2
			街頭での呼びかけ	63.1	61.2	50.0
			献血ルーム前の看板・表示	61.2	50.0	24.9
公務員	全	献血バス	60.4	62.9	59.4	
		街頭での呼びかけ	62.9	59.4	52.2	
		献血ルーム前の看板・表示	59.4	52.2	33.3	
自営業	全	献血バス	60.7	60.0	64.1	
		街頭での呼びかけ	60.0	64.1	48.9	
		献血ルーム前の看板・表示	64.1	48.9	21.5	
専業主婦	全	献血バス	71.4	66.9	65.3	
		街頭での呼びかけ	66.9	65.3	51.1	
		献血ルーム前の看板・表示	65.3	51.1	26.8	
その他	全	献血バス	68.2	68.9	69.5	
		街頭での呼びかけ	68.9	69.5	57.4	
		献血ルーム前の看板・表示	69.5	57.4	30.0	
地域別	北海道	全	献血バス	59.6	58.3	56.3
			街頭での呼びかけ	58.3	56.3	52.5
			献血ルーム前の看板・表示	56.3	52.5	26.1
	東北	全	献血バス	66.0	67.8	64.9
			街頭での呼びかけ	67.8	64.9	46.1
			献血ルーム前の看板・表示	64.9	46.1	28.4
	関東甲信越	全	献血バス	68.4	73.4	73.4
			街頭での呼びかけ	73.4	73.4	54.0
			献血ルーム前の看板・表示	73.4	54.0	32.3
	東海北陸	全	献血バス	64.9	67.9	68.9
			街頭での呼びかけ	67.9	68.9	46.5
			献血ルーム前の看板・表示	68.9	46.5	25.0
	近畿	全	献血バス	64.2	64.9	61.3
			街頭での呼びかけ	64.9	61.3	51.7
			献血ルーム前の看板・表示	61.3	51.7	28.4
中国・四国	全	献血バス	61.9	61.9	61.9	
		街頭での呼びかけ	61.9	61.9	61.9	
		献血ルーム前の看板・表示	61.9	61.9	61.9	
九州・沖縄	全	献血バス	57.6	57.6	57.6	
		街頭での呼びかけ	57.6	57.6	57.6	
		献血ルーム前の看板・表示	57.6	57.6	57.6	

注: 17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答数なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答数は「ラジオ」のみ。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q7)

【献血キャンペーンに効果的な媒体は「テレビ」が8割弱】

- 献血のキャンペーンを行う際に効果的と思われる媒体は、「テレビ」が78.7%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が51.2%。以下、「ポスター」(27.8%)、「携帯電話」(25.4%)、「新聞」(24.4%)が続く。
- 職業別では、各層とも「テレビ」「インターネット」が上位1位と2位を占める。その中で専業主婦は他の層と比べて「テレビ」(85.4%)、「自治体の広報誌」(23.0%)が高い。また高校生では「新聞」(30.6%)が他の層と比べて高く、「テレビ」「インターネット」に次いで3位の媒体となっている。
- 性別では、男性よりも女性で「テレビ」(82.7%)、「ポスター」(30.1%)、「雑誌」(24.8%)などを挙げる割合が高い。
- 地域別では、関東甲信越は「テレビ」(76.2%)の割合が他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での「テレビ」が挙げられる割合は低下傾向、一方「インターネット」は上昇傾向にある。「携帯電話」は17年度調査と20年度調査を比べると11ポイント上昇し、23年度調査では20年度調査と横並びの結果である。
- 職業別では、「テレビ」は過去2回調査と比べて各層で概ね低下傾向にあり、特に大学生・専門学校生、公務員、自営業などで顕著である。一方「インターネット」は各層で上昇傾向にあるが、特に高校生、自営業が20年度調査と比べて10ポイント以上上昇している。
- 性別では、過去2回調査と比べて、男性は「テレビ」が低下している。「インターネット」は男女ともに過去2調査から上昇傾向。
- 地域別では、東北で「インターネット」と「携帯電話」が過去2調査と比べて上昇傾向にあるのに対し、「テレビ」「ポスター」「新聞」「雑誌」「自治体の広報誌」は20年度調査と比べてそれぞれ5ポイント以上低下している。その他、関東甲信越と中国・四国でも「テレビ」及び「雑誌」が20年度調査と比べて低下している。

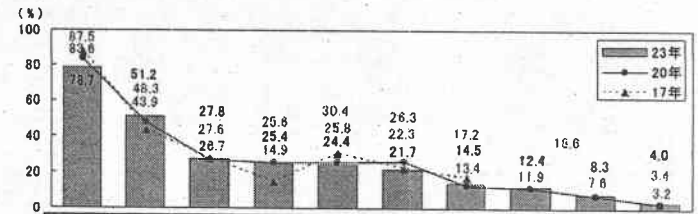
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q7)

Q7. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

属性	年次	人数	媒体 (%)										
			テレビ	インターネット	ポスター	携帯電話	新聞	雑誌	自治体の広報誌	F M放送	その他のラジオ放送	その他	
全体	23年	(9000)	78.7	51.2	27.8	25.4	24.4	21.7	14.5	12.4	8.3	4.0	
	20年	(9000)	83.6	48.3	26.7	25.4	25.8	26.3	13.4	11.9	7.6	3.4	
	17年	(9000)	87.5	43.9	27.6	14.9	30.4	22.3	17.2		18.6	3.2	
高校生	23年	(180)	80.6	49.4	27.8	28.9	30.6	26.7	11.1	12.2	6.1	1.1	
	20年	(181)	80.1	37.0	27.6	29.3	27.8	26.0	11.6	12.2	7.2	2.2	
	17年	(87)	87.4	46.0	26.4	27.6	40.2	25.3	12.6		18.4	5.7	
大学生・専門学校生	23年	(1481)	77.2	50.7	30.7	28.2	24.3	24.2	12.9	12.1	7.4	4.4	
	20年	(1453)	82.8	48.5	27.9	28.3	24.8	26.3	11.0	9.9	6.1	3.4	
	17年	(652)	87.3	45.4	29.9	19.6	28.8	26.8	9.8		17.2	4.4	
会社員	23年	(2019)	78.3	49.2	24.6	22.9	22.5	18.8	13.0	12.5	8.0	4.0	
	20年	(2152)	83.0	48.0	24.3	23.1	25.2	25.1	13.0	12.7	8.2	3.5	
	17年	(2089)	86.4	43.6	26.6	13.6	28.4	20.6	15.7		19.7	2.8	
公務員	23年	(225)	77.3	53.8	23.6	24.9	23.1	20.0	13.3	10.7	7.6	4.4	
	20年	(207)	81.6	49.8	24.6	22.2	27.1	21.3	22.2	9.2	5.3	2.8	
	17年	(203)	87.7	39.9	24.1	17.2	31.5	22.7	20.2		20.2	2.0	
自営業	23年	(135)	63.0	53.3	18.5	20.7	21.5	17.0	15.6	11.9	9.6	3.0	
	20年	(106)	73.4	43.4	32.1	22.6	22.6	22.3	17.9	9.4	3.8	3.8	
	17年	(143)	87.4	49.0	30.8	14.7	35.0	26.6	20.3		30.8	3.5	
専業主婦	23年	(444)	85.4	48.0	29.1	20.0	26.8	21.8	23.0	12.4	8.1	2.9	
	20年	(448)	87.9	46.4	31.9	22.8	27.7	31.5	18.3	13.2	7.6	1.8	
	17年	(1067)	89.1	42.3	27.0	11.9	32.3	21.6	25.1		15.0	2.3	
その他	23年	(518)	82.6	61.8	34.9	31.4	28.9	26.6	19.6	14.0	12.8	4.7	
	20年	(453)	88.1	55.8	28.3	29.3	31.1	30.5	15.5	12.8	9.9	5.3	
	17年	(749)	88.5	45.7	28.8	16.3	32.3	22.7	15.8		19.1	4.7	
性別	男性	23年	(2518)	74.7	51.7	25.5	24.7	24.5	18.7	12.6	13.9	8.5	4.1
		20年	(2556)	81.3	47.8	22.4	24.3	25.5	20.1	11.9	12.6	7.9	3.6
		17年	(1705)	85.6	44.1	23.9	15.6	29.9	18.7	13.1		20.8	3.8
女性	23年	(2482)	82.7	50.7	30.1	29.0	24.3	24.8	16.5	10.9	7.0	3.8	
	20年	(2444)	86.0	48.9	31.2	28.9	26.2	32.3	15.0	11.2	7.3	3.2	
	17年	(3295)	88.5	43.8	29.5	14.5	30.7	24.2	19.4		17.4	3.0	
地域別	北海道	23年	(208)	82.0	52.9	27.7	26.7	29.6	21.4	15.5	12.1	9.7	2.4
		20年	(210)	84.3	47.1	27.1	25.2	30.0	30.5	14.3	8.1	6.7	2.4
		17年	(200)	85.5	41.0	24.5	12.0	28.0	22.0	12.0		24.0	2.5
東北	23年	(353)	79.9	52.7	23.8	28.9	22.1	23.2	15.3	15.0	10.8	2.8	
	20年	(355)	88.7	47.9	29.3	25.1	29.3	29.5	20.6	13.0	8.7	3.9	
	17年	(360)	91.1	42.6	31.1	16.9	29.1	20.3	21.7		20.6	3.1	
関東甲信越	23年	(825)	76.2	52.5	28.7	25.2	22.6	22.0	13.0	11.4	8.1	4.4	
	20年	(825)	82.1	49.7	24.7	26.2	25.0	27.8	10.7	10.2	6.6	3.3	
	17年	(1800)	86.8	47.7	27.6	16.7	27.2	23.2	13.4		15.7	4.2	
東海北陸	23年	(786)	80.4	49.5	27.4	26.1	25.8	22.1	16.4	14.5	9.2	4.2	
	20年	(780)	84.7	47.8	25.0	23.1	26.3	25.5	13.7	14.4	8.1	2.2	
	17年	(750)	86.4	42.1	26.7	13.2	36.8	20.8	20.3		22.0	2.7	
近畿	23年	(818)	76.6	51.0	27.6	25.5	25.6	21.3	14.5	10.8	6.9	4.7	
	20年	(816)	82.8	42.8	28.1	25.5	23.0	25.1	12.9	12.6	8.2	4.3	
	17年	(850)	89.2	43.8	26.7	13.5	29.6	22.0	17.5		18.2	2.6	
中国・四国	23年	(431)	79.4	47.8	28.3	21.1	27.1	19.0	16.2	10.7	7.2	2.8	
	20年	(431)	84.7	50.8	30.2	25.5	29.5	24.4	17.4	11.6	7.4	3.0	
	17年	(450)	88.9	35.8	27.1	11.3	31.8	19.6	17.3		16.2	2.4	
九州・沖縄	23年	(583)	81.8	50.6	27.8	25.2	23.2	22.0	14.9	14.8	8.6	3.6	
	20年	(583)	83.4	50.2	29.0	26.8	24.9	22.8	14.8	13.7	8.7	4.8	
	17年	(600)	86.2	42.7	29.5	15.7	33.7	25.2	23.5		22.3	2.8	

注: 17年は「FM放送」「その他のラジオ放送」は「ラジオ」の回答数のみ。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q8)

【けんけつちゃんの認知率は4割強】

- 献血キャラクター けんけつちゃんの認知率は44.3%で、献血経験者の半数近くの人が認知している。
- 職業別では、大学生・専門学校生 (57.3%)、高校生 (56.1%) といった学生層での認知率が特に高く、認知者が6割にのぼる。
- 性別では、女性の認知率 (52.0%) が男性の認知率 (36.7%) と比べて15ポイント高い。
- 地域別では、近畿での認知率が37.3%で他の地域と比べて低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体でのけんけつちゃんの認知率は17ポイント上昇、さらに20年度調査と23年度調査を比べると21ポイント上昇しており、認知が進んでいるといえる。
- 職業別では、各層で17年度調査より認知率が上昇傾向にあるが、特に高校生、大学生・専門学校生といった学生層での上昇率が高い。
- 性別では、女性の認知率が20年度調査と比べて23ポイントと大幅に上昇している。
- 地域別では、北海道の認知率は20年度調査では他の地域と比べて低かったが、23年度調査では20年度調査より27ポイントと大幅に上昇し、他の地域と同様4割を超える認知率となった。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q8)

Q8. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

【基数：対象者全員】

		(N)	Q8	
			知っている	知らない
全体	23年	(5000)	44.3	55.7
	20年	(5000)	23.8	76.2
	17年	(5000)	7.0	93.0
高校生	23年	(180)	56.1	43.9
	20年	(181)	34.8	65.2
	17年	(87)	19.5	80.5
大学生・専門学校生	23年	(1481)	57.3	42.7
	20年	(1453)	31.8	68.2
	17年	(652)	8.1	91.9
会社員	23年	(2019)	38.1	61.9
	20年	(2152)	20.0	80.0
	17年	(2099)	7.1	92.9
公務員	23年	(225)	44.4	55.6
	20年	(207)	29.5	70.5
	17年	(203)	11.3	88.7
自営業	23年	(135)	31.9	68.1
	20年	(106)	22.6	77.4
	17年	(143)	7.0	93.0
専業主婦	23年	(444)	30.2	69.8
	20年	(448)	12.7	87.3
	17年	(1067)	3.7	96.3
その他	23年	(515)	42.2	57.8
	20年	(453)	19.9	80.1
	17年	(749)	7.7	92.3
性別	男性	23年 (2518)	36.7	63.3
	20年 (2556)	18.9	81.1	
	17年 (1705)	6.6	93.4	
女性	23年 (2482)	52.0	48.0	
20年 (2444)	28.8	71.2		
17年 (3295)	7.2	92.8		
地域別	北海道	23年 (206)	43.7	56.3
	20年 (210)	16.7	83.3	
	17年 (200)	7.5	92.5	
東北	23年 (353)	48.2	51.8	
20年 (355)	31.0	69.0		
17年 (350)	13.1	86.9		
関東甲信越	23年 (1826)	46.7	53.3	
20年 (1825)	26.0	74.0		
17年 (1800)	6.1	93.9		
東海北陸	23年 (788)	45.8	54.2	
20年 (780)	22.9	77.1		
17年 (750)	7.3	92.7		
近畿	23年 (815)	37.3	62.7	
20年 (816)	20.8	79.2		
17年 (850)	7.3	92.7		
中国・四国	23年 (431)	46.2	53.8	
20年 (431)	22.3	77.7		
17年 (450)	5.6	94.4		
九州・沖縄	23年 (583)	41.0	59.0	
20年 (583)	21.3	78.7		
17年 (600)	6.2	93.8		

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(4) 献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 (Q9)

<新規質問>

【けんけつちゃんの印象は6割弱が「よい」】

- 献血キャラクター「けんけつちゃん」を知っている人にけんけつちゃんの印象をたずねたところ、「よい」と感じている人が58.4%で6割弱を占め、半数以上となった。対して「わるい」は3.0%であった。
- 職業別では、高校生で「よい」が67.3%と7割弱を占め、他の層と比べて評価が高い。なお、自営業は回答者数が少ないため、参考値。
- 性別では、「よい」と感じている人が男性(54.9%)と比べて女性(60.9%)で6ポイント高い。
- 地域別では、北海道は「わるい」評価がほとんどないが、「どちらともいえない」が52.2%で半数を占め、他の地域と比べて高い。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(4) 献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 (Q9)

Q9. Q8で「けんけつちゃん」を知っていると答えた方へお聞きします。献血推進のキャラクターとして「けんけつちゃん」の印象を教えてください。

【基数:「けんけつちゃん」知っている人】		よい	わるい	どちらともいえない
	(N)			
全体	(2215)	58.4	3.0	38.6
職業別				
高校生	(101)	67.3	4.0	28.7
大学生・専門学校生	(849)	58.8	3.2	38.0
会社員	(770)	58.3	3.0	38.7
公務員	(100)	55.0	2.0	43.0
自営業	(43)	41.9	11.6	46.5
専業主婦	(134)	56.0	5.5	42.5
その他	(218)	59.2	8.8	39.0
性別				
男性	(924)	54.9	4.0	41.1
女性	(1291)	60.9	2.3	36.8
地域別				
北海道	(80)	47.8	0.0	52.2
東北	(170)	55.9	5.9	38.2
関東甲信越	(853)	59.9	3.4	36.7
東海北陸	(360)	62.2	4.7	35.8
近畿	(304)	52.0	3.6	44.4
中国・四国	(199)	60.8	2.5	36.7
九州・沖縄	(239)	59.0	2.1	38.9

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(5) 献血キャンペーン認知 (Q10)

【最も認知されている献血キャンペーンは「はたちの献血」で4割強】

- 献血に関するキャンペーンを知っているかたずねたところ、「はたちの献血キャンペーン」の認知率が他のキャンペーンと比べて高く、43.1%と半数近くにのぼる。次いで「LOVE in Actionキャンペーン」が24.4%、「愛の血液助け合い運動」が17.9%で、それぞれ2割前後の認知率であった。一つもキャンペーンを知らない人は42.6%で、何らかのキャンペーンを知っている人の方が多かった。
- 職業別では、公務員でいずれのキャンペーンも「知らない」と回答した人は28.4%。4人中3人近くの方が何らかのキャンペーンを認知しており、他の層と比べてキャンペーンの認知率が高い。またキャンペーンごとにみても、「はたちの献血キャンペーン」は公務員での認知率(57.3%)が他の層と比べて高く、一方高校生の認知率は28.9%と低い。「LOVE in Actionキャンペーン」は大学生・専門学校生で30.0%に認知されており他の層と比べて高く、「愛の血液助け合い運動」は高校生で26.1%認知されており高い。
- 性別では、男性に比べて女性において、いずれかのキャンペーンを認知している割合が10ポイント高い。特に「はたちの献血キャンペーン」は男性の認知率(37.4%)と比べて女性の認知率(48.9%)が高い。
- 地域別では、「はたちの献血キャンペーン」は北海道の認知率(50.0%)が他の地域と比べて高く、「LOVE in Actionキャンペーン」は東北の認知率(38.2%)が他の地域と比べて高い。

<参考:17年度・20年度調査結果>

※17年度調査及び20年度調査では
キャンペーンを「知っている」「知らない」のうち1つを
選択することにより回答。

【基数:対象者全員】

	知っている		(%)
	(N)		
全体	20年 (5000)	38.5	83.5
	17年 (5000)	46.4	83.6
高校生	20年 (181)	33.1	66.9
	17年 (87)	42.5	57.5
大学生・ 専門学校生	20年 (1453)	36.8	83.4
	17年 (652)	47.7	82.3
会社員	20年 (2152)	36.8	83.2
	17年 (2089)	45.7	54.3
公務員	20年 (207)	44.3	55.1
	17年 (203)	63.5	36.5
自営業	20年 (106)	32.1	87.9
	17年 (143)	40.6	59.4
専業主婦	20年 (448)	35.7	84.3
	17年 (1067)	46.4	53.6
その他	20年 (453)	34.0	66.0
	17年 (749)	44.5	55.5
性別	20年 (2558)	39.9	69.1
	17年 (1195)	39.6	60.4
女性	20年 (2444)	42.3	67.7
	17年 (3235)	50.0	50.0
地域別	20年 (210)	27.1	72.9
	17年 (200)	43.0	57.0
北海道	20年 (395)	43.7	66.3
	17年 (350)	55.1	44.9
関東甲信越	20年 (1825)	32.9	67.2
	17年 (1800)	40.9	59.1
東海北陸	20年 (780)	37.7	62.3
	17年 (750)	46.0	54.0
近畿	20年 (816)	38.3	61.8
	17年 (850)	49.4	50.6
中国・四国	20年 (431)	38.2	61.7
	17年 (450)	50.0	50.0
九州・沖縄	20年 (583)	41.3	58.7
	17年 (600)	52.8	47.2

<参考:印象に残った具体的なキャッチフレーズ、
メッセージ>

【基数:キャンペーン認知者】

23年度調査 キャンペーン認知者 (N)	2871
印象に残ったフレーズ等 なし:覚えていない	65.9%
印象に残ったフレーズ等 記載あり	34.1%



記載された具体的なフレーズ・メッセージ等 (記載が多かったもの)
はたちの献血
石川遼が出ていたCM、ポスター
LOVE in Action
あなたの献血で救われる命があります
献血は愛
ほくらも、いのちの、助けになれる
~型の血液が不足しています
けんけつちゃんの印象、グッズ
40分で救える命がある
血液を必要としている人がいます

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

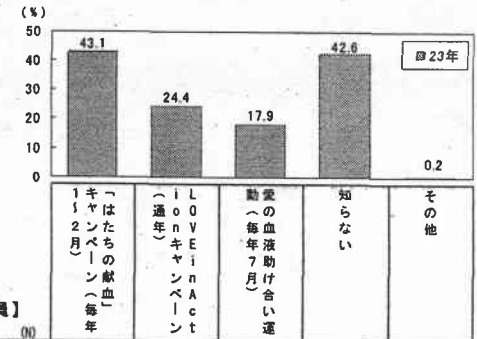
【経験者編】



(5) 献血キャンペーン認知 (Q10)

Q10. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。(いくつでも)

(キャンペーン認知者に対し)献血に関するキャンペーンで、印象に残ったキャッチフレーズやメッセージがあれば、ご記入下さい。



【基数:対象者全員】

	(N)	はたちの献血	LOVE in Action	愛の血液助け合い運動	知らない	その他	
全体	(5000)	43.1	24.4	17.9	42.6	0.2	
職業別	高校生	(180)	28.9	23.9	26.1	48.3	0.6
	大学生・ 専門学校生	(1481)	42.8	30.0	20.4	39.2	0.3
	会社員	(2019)	42.7	21.8	16.9	44.4	0.1
	公務員	(225)	57.3	26.7	21.8	28.4	-
	自営業	(135)	37.8	23.0	17.0	46.7	0.7
	専業主婦	(444)	42.8	19.8	12.4	45.5	-
その他	(516)	45.7	22.1	15.3	45.5	0.4	
性別	男性	(2518)	37.4	21.9	18.2	47.4	0.2
	女性	(2482)	48.9	27.0	17.7	37.7	0.2
地域別	北海道	(206)	50.0	26.7	17.5	37.9	-
	東北	(353)	46.5	38.2	14.7	36.3	-
	関東甲信越	(1825)	40.0	23.0	16.2	46.1	0.3
	東海北陸	(786)	39.9	24.2	19.2	43.8	0.1
	近畿	(816)	44.6	20.3	18.9	43.6	0.4
	中国・四国	(431)	47.6	24.1	20.9	36.7	0.2
	九州・沖縄	(583)	47.2	25.9	20.2	38.3	0.2

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(6) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

【HOP STEP JUMPを配布された人は2割弱】

- 高校3年生を対象に、HOP STEP JUMPという普及啓発資材が配布されていることを認知している人は15.1%と2割弱。授業で使用した経験がある人は5.3%にとどまる。
- 職業別では、高校生の認知率が37.2%と高く4割弱にのぼる。また大学生・専門学校生が25.0%で3割弱にのぼり、勤労者と比べて学生での認知率が高い。
- 性別による大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道の認知率が10.2%で、他の地域と比べてやや低い。

- 20年度調査と比べると、全体では大きな変化はみられない。
- 職業別では、大学生・専門学校生において、17年度調査より認知率が上昇傾向にある。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、北海道において17年度調査と20年度調査を比べると認知率が上昇していたが、23年度調査は低下しており17年度調査並みの認知率となった。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(6) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

Q11. 平成2年から、全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数:対象者全員】	(N)	(%)				認知計	
		保健体育の授業で使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない		
全体	23年 (5000)	4.2	9.8	84.9		15.1	
	20年 (5000)	4.2	9.0	85.3		14.7	
	17年 (5000)	2.7	7.2	89.4		10.6	
高校生	23年 (180)	16.1	19.4	62.8		37.2	
	20年 (181)	8.3	21.0	68.5		31.5	
	17年 (87)	4.6	29.9	65.5		34.5	
大学生・専門学校生	23年 (1431)	16.3	17.3	75.0		25.0	
	20年 (1453)	15.8	13.8	79.1		20.9	
	17年 (652)	13.9	12.8	81.4		18.6	
会社員	23年 (2019)	3.6	5.9	89.5		10.4	
	20年 (2152)	3.0	6.2	88.3		11.7	
	17年 (2099)	2.7	5.5	91.1		8.9	
公務員	23年 (226)	3.5	11.6	85.3		14.7	
	20年 (207)	3.9	7.7	87.0		13.0	
	17年 (203)	2.5	11.3	85.2		14.8	
自営業	23年 (135)	3.7	5.2	90.4		9.6	
	20年 (106)	2.4	7.6	89.8		14.2	
	17年 (143)	4.9	7.0	88.7		13.3	
専業主婦	23年 (444)	4.1	6.7	93.9		6.2	
	20年 (448)	4.7	6.7	93.8		6.3	
	17年 (1067)	2.6	6.0	91.9		8.1	
その他	23年 (616)	4.7	7.7	93.2		6.8	
	20年 (453)	3.3	7.3	98.5		11.5	
	17年 (749)	3.3	6.3	92.4		7.6	
性別	男性	23年 (2518)	4.4	10.0	84.4		15.7
	20年 (2556)	4.9	9.3	83.8		16.2	
	17年 (1705)	3.7	7.9	87.3		12.7	
女性	23年 (2482)	4.1	9.6	85.4		14.6	
20年 (2444)	3.4	8.7	86.9		13.1		
17年 (3295)	3.7	6.9	90.5		9.5		
地域別	北海道	23年 (206)	2.7	7.8	89.8		10.2
	20年 (210)	6.2	11.0	81.9		18.1	
	17年 (200)	3.9	9.0	89.5		11.5	
東北	23年 (353)	3.8	11.0	85.6		14.4	
	20年 (355)	3.9	11.8	82.0		18.0	
	17年 (350)	5.4	8.0	86.0		14.0	
関東甲信越	23年 (1825)	4.9	10.2	83.8		16.1	
	20年 (1825)	4.7	7.9	85.1		14.9	
	17年 (1800)	2.7	7.6	89.3		10.7	
東海北陸	23年 (786)	4.1	11.2	83.2		16.8	
	20年 (780)	3.5	11.2	84.2		15.8	
	17年 (750)	3.0	7.9	88.9		11.1	
近畿	23年 (816)	3.5	8.6	86.6		13.4	
	20年 (816)	4.4	9.2	85.5		14.5	
	17年 (850)	3.2	8.0	89.3		10.7	
中国・四国	23年 (431)	4.4	10.0	84.5		15.6	
	20年 (431)	3.2	8.8	86.5		13.5	
	17年 (450)	1.7	5.0	91.1		8.9	
九州・沖縄	23年 (583)	4.6	8.2	86.1		13.8	
	20年 (583)	3.1	6.9	89.5		10.5	
	17年 (600)	1.6	6.8	91.5		8.5	

4. 感染症・血液製剤について

【経験者編】



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

【献血では感染症に感染しないことの認知率は7割強】

- 献血でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことを認知している人は72.4%。
- 職業別では、自営業の認知率が57.0%で6割弱にとどまり、他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の認知率(75.4%)が男性の認知率(69.4%)と比べて6ポイント高い。
- 地域別では、東北の認知率(68.3%)が他の地域と比べてやや低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での認知率はほぼ横並びであったが、23年度調査は20年度調査と比べて6ポイント認知率が低下している。
- 職業別では、各層で20年度調査より認知率が低下しているが、特に自営業で18ポイント低下しており顕著。
- 性別では、男女ともに20年度調査と比べると認知率が低下している。
- 地域別では、東北で20年度調査と比べて認知率の低下が大きく、13ポイント低下している。

4. 感染症・血液製剤について

【経験者編】



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

Q12. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

		【基数:対象者全員】		【%】	
		(N)		知っている	知らない
全体	23年	(5000)		72.4	27.6
	20年	(5000)		78.4	21.6
	17年	(5000)		79.9	20.1
高校生	23年	(180)		68.3	31.7
	20年	(181)		76.2	23.8
	17年	(87)		78.2	21.8
大学生・専門学校生	23年	(1481)		76.2	23.8
	20年	(1453)		80.6	19.4
	17年	(652)		80.5	19.5
会社員	23年	(2019)		71.0	29.0
	20年	(2152)		76.4	23.6
	17年	(2099)		80.2	19.8
公務員	23年	(225)		77.8	22.2
	20年	(207)		81.6	18.4
	17年	(203)		88.2	11.8
自営業	23年	(135)		57.0	43.0
	20年	(108)		74.5	25.5
	17年	(143)		83.9	16.1
専業主婦	23年	(441)		72.7	27.3
	20年	(448)		81.5	18.5
	17年	(1067)		79.4	20.6
その他	23年	(516)		69.4	30.6
	20年	(453)		78.4	21.6
	17年	(749)		76.5	23.5
性別	23年	(2518)		69.4	30.6
	20年	(2556)		76.2	23.8
	17年	(1705)		77.2	22.8
女性	23年	(2482)		75.4	24.6
	20年	(2444)		80.8	19.2
	17年	(3295)		81.3	18.7
地域別	23年	(206)		75.2	24.8
	20年	(210)		79.0	21.0
	17年	(200)		84.5	15.5
北海道	23年	(353)		68.3	31.7
	20年	(355)		81.4	18.6
	17年	(350)		83.4	16.6
関東甲信越	23年	(1825)		71.1	28.9
	20年	(1825)		76.3	23.7
	17年	(1800)		79.1	20.9
東海北陸	23年	(786)		72.3	27.7
	20年	(780)		79.4	20.6
	17年	(750)		79.6	20.4
近畿	23年	(816)		72.8	27.2
	20年	(816)		78.7	21.3
	17年	(850)		78.8	21.2
中国・四国	23年	(431)		74.2	25.8
	20年	(431)		81.7	18.3
	17年	(450)		79.1	20.9
九州・沖縄	23年	(583)		75.8	24.2
	20年	(583)		79.1	20.9
	17年	(600)		81.2	18.8



(2)血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

【血液製剤の海外血液依存の認知率は2割】

- 血液製剤は未だ海外の血液に依存しているということを認知している人は20.3%で、5人中1人の割合。
- 職業別では、専業主婦の認知率(13.1%)が他の層と比べて低く、1割強にとどまる。一方高校生の認知率は26.1%で他の層と比べて高い。
- 性別では、大きな差はみられない。
- 地域別では、中国・四国の認知率(26.7%)が他の地域と比べて高い。

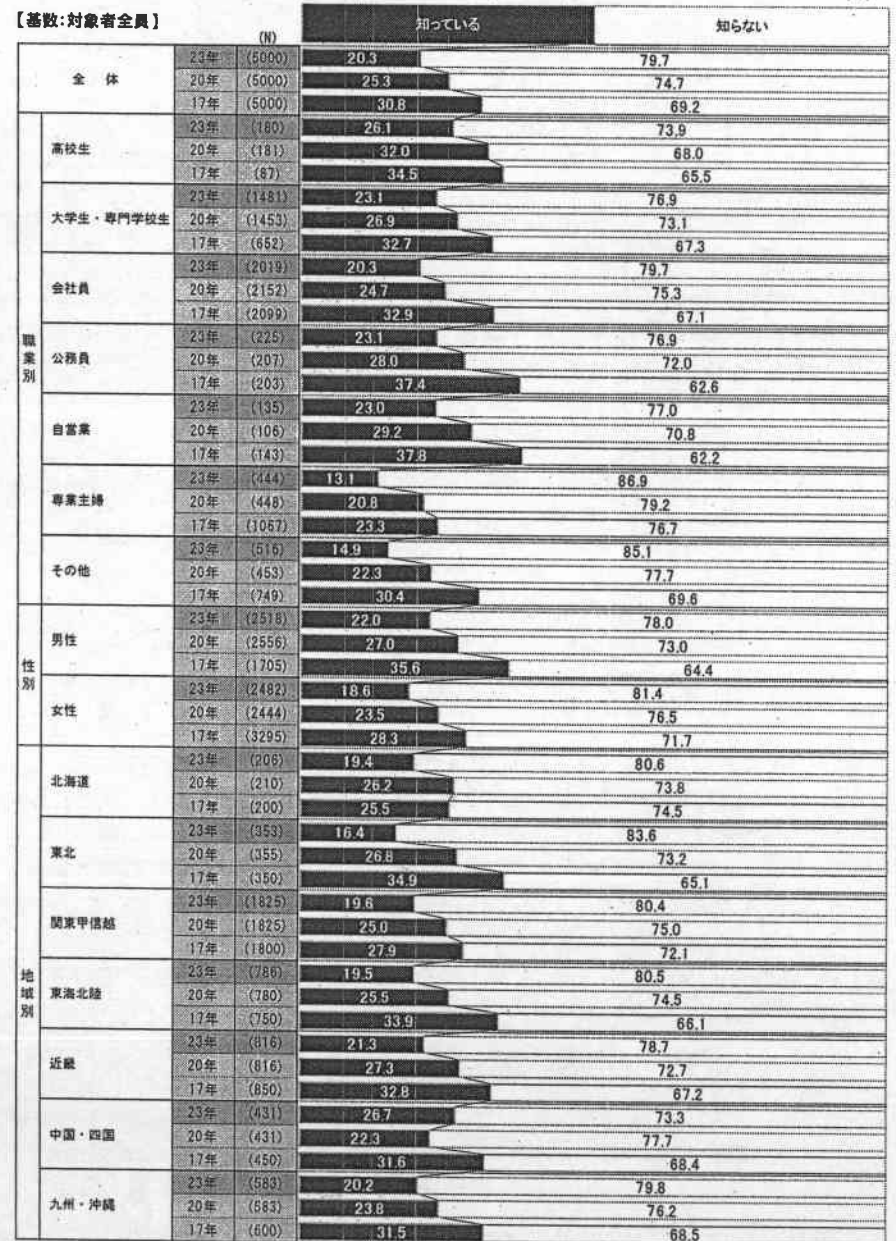
- 20年度調査と17年度調査を比べると、全体での認知率は6ポイント低下し、23年度調査は20年度調査と比べてさらに5ポイント認知率が低下している。
- 職業別では、各層で認知率は17年度調査から低下傾向にある。
- 性別では、男女ともに認知率は17年度調査から低下傾向にある。
- 地域別では、中国・四国の認知率のみが20年度調査と比べてやや上昇した。その他の地域は20年度調査の認知率を下回っている。



(2)血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

Q13. 血液製剤(*)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。
*重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ58%台である。

【基数:対象者全員】



5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(1) ルームの雰囲気について (Q14-1)

【献血ルームのイメージは「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る】

- 献血ルームのイメージについては、「ふつう」の印象を持っている人が47.5%を占め、ほぼ半数。「明るい」イメージが38.5%に対して、「暗い」イメージが5.7%で「明るい」イメージが「暗い」イメージを大きく上回っており好評価。
- 職業別では、自営業で「ふつう」(50.4%)や「わからない」(11.9%)といった割合が高く、「明るい」イメージ(32.6%)を持っている人の割合が他の層と比べて低い。
- 性別では、「明るい」と評価する割合は女性(43.4%)が男性(33.7%)を10ポイント上回り高い。
- 地域別では、「明るい」イメージが近畿(32.2%)で最も低く3割強にとどまる。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での「明るい」と評価する割合は7ポイント低下している。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。
- 職業別では、高校生で「明るい」と評価する割合が、17年度調査と20年度調査を比べると10ポイント低下していたが、23年度調査では上昇し、17年度調査の割合と横並び。
- 性別では、17年度調査と比べて20年度調査で男女ともに「明るい」の割合が低下していたが、23年度調査では上昇している。
- 地域別では、北海道と東北では17年度調査から「明るい」の割合が低下傾向にある。その他の地域では、17年度調査と20年度調査を比べると「明るい」の割合が低下しているが、23年度調査では上昇し、ほぼ17年度調査並みに回復している。

5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(1) ルームの雰囲気について (Q14-1)

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。 (1) ルームの雰囲気

		(%)			
		明るい	ふつう	暗い	わからない
全体	23年 (5000)	38.5	47.5	5.7	8.2
	20年 (5000)	34.7	51.7	7.7	6.0
高校生	17年 (5000)	42.1	49.6		8.3
	23年 (180)	38.9	48.3	7.2	5.6
	20年 (181)	29.3	53.8	9.4	7.7
大学生・専門学校生	17年 (87)	39.1	51.7		9.2
	23年 (1481)	41.5	45.9	5.7	7.0
	20年 (1453)	37.8	50.0	7.0	5.3
会社員	17年 (652)	51.1	41.3		7.7
	23年 (2019)	36.1	49.3	5.4	9.2
	20年 (2152)	32.1	54.0	7.8	6.1
公務員	17年 (2099)	40.3	50.6		9.1
	23年 (225)	39.6	46.7	4.0	9.8
	20年 (207)	42.0	47.3	4.8	5.8
自営業	17年 (203)	48.3	47.3		4.4
	23年 (135)	32.6	50.4	5.2	11.9
	20年 (106)	34.0	53.8	7.5	4.7
専業主婦	17年 (143)	42.0	50.3		7.7
	23年 (444)	39.9	48.0	6.8	5.4
	20年 (448)	35.3	50.9	8.7	5.1
その他	17年 (1067)	38.8	52.1		9.1
	23年 (516)	39.1	44.2	6.6	10.1
	20年 (453)	35.3	47.2	9.1	8.4
性別	17年 (749)	43.0	50.6		6.4
	23年 (2518)	33.7	51.5	6.1	8.8
	20年 (2556)	29.9	55.2	8.7	6.2
女性	17年 (1705)	38.2	52.7		9.1
	23年 (2482)	43.4	43.6	5.4	7.7
	20年 (2444)	39.7	47.9	6.6	5.8
地域別	17年 (3295)	44.2	48.0		7.9
	23年 (208)	39.3	47.6	3.4	9.7
	20年 (210)	43.3	41.0	8.6	7.1
北海道	17年 (200)	50.5	42.0		7.5
	23年 (353)	34.6	50.7	4.2	10.5
	20年 (355)	37.7	49.3	3.9	9.0
東北	17年 (350)	47.1	46.6		4.3
	23年 (1825)	41.3	44.5	6.9	7.2
	20年 (1825)	35.0	52.4	7.8	4.8
関東甲信越	17年 (1800)	44.1	47.4		8.6
	23年 (786)	37.9	49.2	5.3	7.5
	20年 (780)	32.7	54.6	6.9	5.8
東海北陸	17年 (750)	39.6	51.6		8.8
	23年 (616)	32.2	51.2	7.5	9.1
	20年 (616)	29.9	53.8	9.9	6.4
近畿	17年 (850)	34.1	53.6		12.2
	23年 (431)	37.4	46.4	4.4	11.8
	20年 (431)	34.6	52.4	6.5	6.5
中国・四国	17年 (450)	39.8	53.6		6.7
	23年 (583)	42.2	48.2	2.9	6.7
	20年 (583)	38.3	47.2	7.7	6.9
九州・沖縄	17年 (600)	46.8	48.0		5.2

注：17年は「わからない」の回答数なし。

5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(2) ルームの広さについて (Q14-2)

【献血ルームの広さは「ふつう」が半数】

- 献血ルームの広さのイメージについてたずねたところ、「広い」が22.2%に対して、「狭い」が20.2%でありほぼ同率である。「ふつう」と評価する人が47.3%でほぼ半数を占める。
- 職業別では、「狭い」と感じている割合が自営業(15.6%)で他の層と比べるとやや低い。
- 性別では、女性で「広い」と感じる割合(24.9%)が男性(19.6%)と比べて5ポイント高い。
- 地域別では、近畿で「広い」と感じる人の割合(17.4%)が他の地域と比べて低く、「狭い」(25.4%)と感じる人が多い。

- 過去2回調査と比べると、全体のイメージは概ね変化していない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、会社員、公務員、自営業で「狭い」と感じる人の割合が低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、男性で「狭い」と感じる割合が5ポイント低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北、関東甲信越、九州・沖縄で「狭い」と感じる割合がそれぞれ5ポイント以上低下している。

5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(2) ルームの広さについて (Q14-2)

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。 (2) ルームの広さについて

		(N)	広い	ふつう	狭い	わからない	
全体	23年	(6000)	22.2	47.3	20.2	10.3	
	20年	(6090)	20.4	48.1	24.5	7.0	
	17年	(5000)	20.9	54.6	24.5		
高校生	23年	(180)	18.9	47.8	26.1	7.2	
	20年	(181)	19.3	45.3	27.1	8.3	
	17年	(87)	19.5	51.7	28.7		
大学生・専門学校生	23年	(1481)	23.3	45.8	21.9	9.0	
	20年	(1453)	20.5	46.5	25.1	5.9	
	17年	(652)	24.7	52.8	22.5		
会社員	23年	(2019)	21.9	48.1	19.1	10.9	
	20年	(2152)	18.9	49.4	24.3	7.3	
	17年	(2099)	19.9	55.2	24.9		
公務員	23年	(225)	23.1	49.3	16.9	10.7	
	20年	(207)	26.6	41.1	26.6	5.8	
	17年	(203)	22.7	58.1	19.2		
自営業	23年	(135)	19.3	50.4	15.6	14.8	
	20年	(106)	21.7	41.5	32.1	4.7	
	17年	(143)	17.5	58.4	23.1		
専業主婦	23年	(444)	23.4	46.4	21.8	8.3	
	20年	(446)	20.1	48.7	24.1	7.1	
	17年	(1067)	20.7	52.3	27.0		
その他	23年	(516)	21.1	47.3	19.0	12.6	
	20年	(453)	24.7	46.1	19.6	9.5	
	17年	(749)	21.4	55.8	22.7		
性別	男性	23年	(2518)	19.6	47.4	22.3	10.7
	20年	(2556)	17.6	48.0	27.7	6.7	
	17年	(1705)	17.4	55.8	26.8		
女性	23年	(2482)	24.9	47.2	18.0	9.8	
	20年	(2444)	23.3	48.2	21.1	7.4	
	17年	(3295)	22.8	53.9	23.3		
北海道	23年	(205)	20.9	46.6	19.9	12.6	
	20年	(210)	23.8	45.2	21.4	9.5	
	17年	(200)	24.0	53.6	22.5		
東北	23年	(353)	19.3	49.0	18.7	13.0	
	20年	(355)	22.8	43.4	24.5	9.3	
	17年	(350)	20.0	59.1	20.9		
関東甲信越	23年	(1825)	24.6	46.7	19.4	9.3	
	20年	(1825)	21.2	48.8	24.4	5.6	
	17年	(1800)	22.2	53.9	23.9		
東海北陸	23年	(786)	20.1	50.1	20.0	9.8	
	20年	(780)	19.4	50.6	22.8	7.2	
	17年	(750)	20.5	55.5	24.0		
近畿	23年	(818)	17.4	46.9	25.4	10.3	
	20年	(816)	19.0	45.1	28.6	7.4	
	17年	(850)	17.4	52.0	30.6		
中国・四国	23年	(431)	20.9	44.5	20.9	13.7	
	20年	(431)	14.8	53.5	23.0	8.6	
	17年	(450)	20.7	53.6	25.8		
九州・沖縄	23年	(583)	27.8	47.2	16.3	8.7	
	20年	(583)	22.5	46.6	23.3	7.4	
	17年	(600)	22.5	57.5	20.0		

注：17年は「わからない」の回答数なし。

5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(3) 職員の対応について (Q14-3)

【職員の対応については半数が「良い」印象】

- 職員の対応についてたずねたところ、「良い」がほぼ半数の48.4%を占める。また「ふつう」も41.3%となっており、「悪い」と感じる人は3.0%にとどまった。職員に対する評価は概ね良好である。
- 職業別では、「良い」の割合が高校生で55.6%、大学生・専門学校生で56.4%となり、それぞれ6割弱を占め、他の層と比べて評価が高い。
- 性別・地域別による大きな差はみられない。

- 20年度調査と比べると、全体でのイメージに大きな変化はみられない。
- 職業別では、大学生・専門学校生で「良い」の割合が20年度調査と比べると5ポイント上昇している。
- 性別・地域別では、20年度調査と比べて大きな変化はみられない。

5. 献血ルームのイメージ

【経験者編】



(3) 職員の対応について (Q14-3)

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。 (3) 職員の対応について

		(%)				
【集数:対象者全員】		良い	ふつう	悪い	わからない	
全体	23年 (5000)	48.4	41.3	3.0	7.4	
	20年 (5000)	47.2	44.0	3.3	5.5	
	17年 (5000)	37.8	57.5	4.7		
高校生	23年 (180)	55.6	36.1	3.3	5.0	
	20年 (181)	53.0	38.7	3.9	4.4	
	17年 (87)	43.7	50.6	5.7		
大学生・専門学校生	23年 (148)	56.4	36.0	2.4	5.2	
	20年 (1453)	51.1	41.2	2.7	5.0	
	17年 (652)	45.6	50.0	4.4		
会社員	23年 (2019)	42.5	45.6	3.3	8.4	
	20年 (2152)	44.1	46.7	3.7	5.4	
	17年 (2099)	36.3	56.6	5.1		
公務員	23年 (225)	45.3	42.7	4.4	7.6	
	20年 (207)	48.3	41.1	3.9	6.8	
	17年 (203)	40.4	57.6	2.0		
自営業	23年 (135)	48.9	37.8	3.7	9.6	
	20年 (106)	50.0	44.3	2.8	2.8	
	17年 (143)	32.9	62.9	4.2		
専業主婦	23年 (444)	45.7	45.0	2.8	6.3	
	20年 (445)	44.4	45.8	4.0	5.8	
	17年 (1067)	34.6	60.2	5.2		
その他	23年 (515)	49.2	37.6	2.7	10.5	
	20年 (453)	48.1	41.3	2.8	7.9	
	17年 (749)	39.5	56.7	3.7		
性別	男性	23年 (2518)	48.2	41.1	3.0	7.8
	20年 (2556)	46.9	44.2	3.4	5.4	
	17年 (1705)	37.2	58.5	4.3		
女性	23年 (2482)	48.6	41.5	3.0	6.9	
20年 (2444)	47.4	43.7	3.2	5.6		
17年 (3295)	38.1	57.0	4.9			
地域別	北海道	23年 (206)	52.9	38.6	1.9	6.3
	20年 (210)	50.5	41.0	1.9	6.7	
	17年 (200)	45.0	54.5	0.5		
東北	23年 (353)	48.4	39.4	3.7	6.5	
20年 (355)	48.5	42.6	2.8	6.2		
17年 (350)	38.3	56.6	5.1			
関東甲信越	23年 (1825)	48.6	41.2	3.1	7.1	
20年 (1825)	45.8	44.7	4.3	5.2		
17年 (1800)	38.4	58.6	5.0			
東海北陸	23年 (786)	49.6	41.7	3.1	6.6	
20年 (780)	47.7	44.1	2.9	5.3		
17年 (750)	37.9	57.7	4.4			
近畿	23年 (816)	45.8	42.8	3.8	7.6	
20年 (818)	47.2	43.3	3.3	6.3		
17年 (850)	35.4	59.2	5.4			
中国・四国	23年 (431)	49.7	37.8	2.6	10.0	
20年 (431)	50.1	43.6	1.4	4.9		
17年 (450)	33.8	60.7	5.6			
九州・沖縄	23年 (583)	47.0	43.2	1.9	7.9	
20年 (583)	46.5	44.6	3.1	5.8		
17年 (600)	39.5	56.8	3.7			

注: 17年は「わからない」の回答数なし。



(4) 記念品や軽い飲食物について (Q14-4)

【記念品や軽い飲食物については4割強が「良い」印象】

- 記念品や軽い飲食物についてたずねたところ、「良い」が43.6%に対し、「悪い」は7.9%となっており、「良い」と感じる人の割合が大きく上回る。なお、「ふつう」という意見も41.7%を占める。
- 職業別では、自営業で「良い」評価(35.6%)が他の層と比べて低く、一方大学生・専門学校生(47.9%)と専業主婦(48.4%)では「良い」評価が高く半数近くを占める。
- 性別では、女性の「良い」評価(47.9%)が男性(39.3%)を9ポイント上回り高い。
- 地域別では、東海北陸で「良い」評価(48.1%)が他の地域と比べてやや高く、一方近畿では「良い」評価(38.8%)が他の地域と比べてやや低い。

- 過去2回調査と比べて、全体での「良い」評価は上昇傾向である。
- 職業別では、過去2回調査と比べて、大学生・専門学校生、会社員、専業主婦で「良い」評価が上昇傾向にある。
- 性別では、男女ともに過去2回調査と比べて、「良い」が上昇し、「ふつう」が低下の傾向にある。
- 地域別では、東海北陸で過去2回調査と比べて、「良い」が上昇し、「ふつう」が低下の傾向にある。



(4) 記念品や軽い飲食物について (Q14-4)

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。(4) 記念品や軽い飲食物について

【基数:対象者全員】		(N)	良い	ふつう	悪い	わからない	
全体	23年	(5000)	43.6		41.7	7.9 6.8	
	20年	(5000)	40.9		44.3	9.9 5.0	
	17年	(5000)	36.7		51.5	11.8	
高校生	23年	(180)	41.7		41.1	10.6 6.7	
	20年	(181)	40.9		40.3	11.6 7.2	
	17年	(87)	47.1		37.9	14.9	
大学生・専門学校生	23年	(1481)	47.9		39.0	7.8 5.3	
	20年	(1453)	43.8		41.5	10.0 4.7	
	17年	(652)	41.6		49.8	8.6	
会社員	23年	(2019)	40.0		44.5	8.3 7.2	
	20年	(2152)	37.8		46.8	10.3 5.1	
	17年	(2099)	34.0		53.2	12.9	
公務員	23年	(225)	42.7		42.2	8.0 7.1	
	20年	(207)	44.0		41.5	10.6 3.9	
	17年	(203)	44.3		46.8	8.9	
自営業	23年	(135)	35.6		43.7	10.4 10.4	
	20年	(106)	33.0		50.9	14.2 9.9	
	17年	(143)	35.7		55.9	8.4	
専業主婦	23年	(44)	48.4		39.6	5.4 6.5	
	20年	(449)	44.6		44.0	7.1 4.2	
	17年	(1067)	36.6		50.8	12.7	
その他	23年	(516)	44.0		40.1	6.8 9.1	
	20年	(453)	42.8		42.8	7.9 6.4	
	17年	(749)	37.4		51.4	11.2	
性別	男性	23年	(2518)	39.3		43.6	9.5 7.5
	20年	(2556)	37.6		45.1	11.9 5.5	
	17年	(1705)	31.1		55.5	13.4	
女性	23年	(2482)	47.9		39.8	6.2 6.1	
20年	(2444)	44.3		43.5	7.8 4.4		
17年	(3295)	39.6		49.5	10.9		
地域別	北海道	23年	(206)	42.2		43.7	6.8 7.3
	20年	(210)	49.0		34.8	9.0 7.1	
	17年	(200)	40.0		50.0	10.0	
東北	23年	(353)	41.9		40.5	9.6 7.9	
20年	(355)	41.1		44.8	8.5 5.6		
17年	(350)	34.6		52.9	12.6		
関東甲信越	23年	(1825)	45.6		39.6	8.2 6.6	
20年	(1825)	39.9		45.3	10.1 4.7		
17年	(1500)	40.4		48.0	11.6		
東海北陸	23年	(786)	48.1		38.9	7.8 5.2	
20年	(780)	40.9		44.1	10.5 4.5		
17年	(750)	35.1		54.3	10.7		
近畿	23年	(816)	38.8		45.8	8.3 7.0	
20年	(818)	37.1		48.5	9.4 4.9		
17年	(850)	30.0		56.1	13.9		
中国・四国	23年	(431)	42.5		40.8	6.7 10.0	
20年	(431)	43.4		40.6	10.2 5.8		
17年	(450)	33.8		53.3	12.9		
九州・沖縄	23年	(583)	40.1		47.0	6.5 6.3	
20年	(583)	43.9		41.5	9.9 4.6		
17年	(600)	39.5		50.5	10.0		

注: 17年は「わからない」の回答数なし。

6. 献血についての要望・知りたいこと

【経験者編】



(1) 献血についての要望・知りたいこと (Q15)

【献血についての要望・知りたいことは多岐にわたる】

- 献血についての要望や知りたいことをたずねたところ、「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」が39.4%。僅差で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(38.9%)、「献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい」(37.3%)などが続いており、突出したものはなく要望は多岐にわたっている。
- 職業別では、大学生・専門学校生で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(44.4%)、「進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい」(21.5%)が他の層と比べて高い。また専業主婦では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(46.6%)、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」(36.7%)が他の層と比べて高い。自営業では要望・知りたいことは「特になし」の人が20.7%を占め、他の層と比べて高い。
- 性別では、総じて男性よりも女性で要望や知りたいことがある。特に女性では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(42.3%)、「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(41.5%)、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」(31.6%)、「献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい」(30.7%)といった要望が男性と比べて高い。
- 地域別では、多少のスコア差はあるものの、全体的には大きな違いはみられない。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」が低下している。20年度調査と23年度調査は全体的に大きな変化はみられない。
- 職業別では、過去2回調査と比べて、自営業と専業主婦で総じて知りたいことや要望が減少している。
- 性別では、20年度調査と比べると、女性で「献血された血液がどのように使われるのかわからない」が6ポイント低下している。また過去2回調査と比べると、女性で「献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」という要望が低下傾向である。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北、東海北陸、中国・四国で「献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」といった要望が低下した。

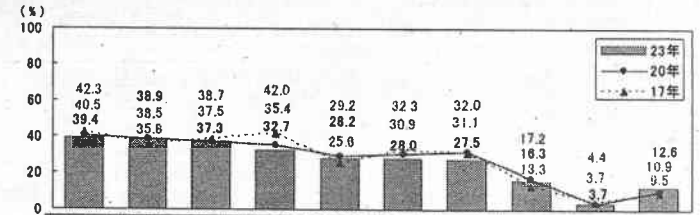
6. 献血についての要望・知りたいこと

【経験者編】



(1) 献血についての要望・知りたいこと (Q15)

Q15. 献血について何が要望又は知りたいことがありますか。(いくつでも)



【導数:対象者全員】

職業別	性別	地域別	年次	N	要望内容 (%)									
					せめて健康、必要性を知らしてほしい	献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい	献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい	献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい	職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい	進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい	献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい	献血された血液がどのように使われるのかわからない	その他	特になし
全体			23年	(5000)	39.4	38.9	37.3	32.7	28.2	28.0	27.5	16.3	3.7	12.6
			20年	(5000)	40.5	38.5	37.5	35.4	28.2	30.9	32.0	17.2	3.7	10.9
			17年	(5000)	42.3	35.8	38.7	42.0	25.6	32.3	31.1	13.3	4.4	9.5
高校生			23年	(180)	40.0	37.2	43.3	36.1	23.9	21.7	21.7	16.7	-	13.9
			20年	(181)	35.4	33.1	41.4	35.9	23.2	14.4	23.2	24.9	2.2	16.0
			17年	(87)	28.7	46.0	42.5	44.8	20.7	26.4	23.0	23.0	1.1	11.5
大学生・専門学校生			23年	(1481)	40.0	44.4	38.6	35.7	28.6	30.7	28.4	21.5	3.7	10.7
			20年	(1453)	38.3	39.2	36.0	36.6	26.6	31.7	28.4	22.1	2.9	12.0
			17年	(652)	41.0	41.3	35.9	44.5	26.2	35.1	28.8	20.9	3.4	7.8
会社員			23年	(2019)	37.3	37.2	35.2	30.6	25.1	28.2	25.0	12.1	3.4	13.7
			20年	(2152)	40.9	39.1	36.8	32.9	28.1	32.5	33.5	13.2	3.9	9.8
			17年	(2099)	43.0	38.2	37.3	40.1	22.3	35.0	29.7	11.6	3.4	9.4
公務員			23年	(225)	30.7	38.7	40.0	30.7	28.4	33.3	28.4	14.2	3.6	9.8
			20年	(207)	34.3	41.5	35.3	34.8	24.2	36.2	24.6	17.9	4.3	12.1
			17年	(200)	36.0	41.4	36.9	38.4	21.7	42.9	22.7	10.8	5.9	5.4
自営業			23年	(135)	37.0	23.0	31.9	23.7	26.7	21.5	31.9	11.0	3.7	20.7
			20年	(106)	40.5	30.2	41.5	34.0	29.2	27.4	33.0	19.8	6.6	17.0
			17年	(143)	46.2	21.7	44.1	37.1	27.3	28.0	37.8	10.5	7.0	8.4
専業主婦			23年	(444)	46.6	33.1	37.8	34.2	36.7	19.7	28.4	16.2	4.1	11.9
			20年	(448)	45.8	38.2	44.2	40.2	42.0	27.9	39.5	14.5	3.1	7.4
			17年	(1067)	42.5	31.0	42.6	45.6	30.6	24.8	34.2	12.4	5.2	10.0
その他			23年	(516)	44.2	39.7	39.9	33.3	33.5	28.9	32.6	19.4	5.8	12.8
			20年	(453)	45.5	36.4	37.5	38.9	34.7	28.3	34.4	19.4	4.9	12.6
			17年	(749)	43.8	31.0	38.2	41.8	28.4	31.6	34.4	12.8	6.3	11.5
男性			23年	(2518)	36.6	36.4	36.3	31.0	24.8	25.3	26.5	15.3	2.9	15.3
			20年	(2556)	40.4	33.8	36.9	32.5	25.4	27.7	29.7	17.2	3.5	13.4
			17年	(1705)	43.2	32.8	36.9	36.7	22.8	29.9	28.9	12.7	3.9	11.0
女性			23年	(2482)	42.3	41.5	38.4	34.5	31.6	30.7	28.0	17.2	4.6	9.9
			20年	(2444)	40.6	43.4	38.1	38.4	31.1	34.2	34.5	17.2	3.8	8.3
			17年	(3295)	41.9	37.3	39.6	44.8	27.1	33.6	32.2	13.6	4.7	8.7
北海道			23年	(208)	34.0	44.2	40.3	28.6	27.7	31.6	20.4	11.7	4.4	13.1
			20年	(210)	38.1	39.5	41.9	28.2	25.2	32.4	31.9	21.9	3.3	12.4
			17年	(200)	32.0	34.5	35.5	36.5	22.5	28.0	27.5	8.5	4.5	14.5
東北			23年	(353)	34.9	37.1	40.5	32.6	27.5	26.6	27.8	14.4	3.4	13.6
			20年	(355)	42.8	40.3	39.7	40.0	29.3	30.7	26.5	16.6	3.1	9.3
			17年	(350)	44.6	37.1	40.6	38.9	26.3	29.7	29.4	14.6	4.0	9.1
関東甲信越			23年	(1825)	41.3	36.8	34.0	35.1	29.1	28.4	30.5	17.9	4.2	13.3
			20年	(1825)	40.7	34.5	32.1	34.5	28.5	31.1	33.2	17.6	4.1	13.2
			17年	(1800)	42.2	34.9	32.9	43.4	24.6	32.0	32.2	13.8	5.5	10.6
東海北陸			23年	(785)	40.6	40.6	36.6	32.9	26.3	23.7	26.8	16.4	3.7	11.8
			20年	(780)	40.3	41.2	40.8	37.4	29.9	31.5	31.3	15.5	3.1	9.7
			17年	(750)	42.5	36.1	43.6	40.0	24.3	34.0	29.2	13.7	3.9	7.9
近畿			23年	(816)	37.9	39.6	40.3	31.4	28.7	28.2	25.4	16.2	3.4	13.1
			20年	(816)	41.4	39.1	39.8	36.2	30.1	28.4	31.7	16.5	3.6	9.9
			17年	(850)	42.8	34.8	42.0	43.4	25.4	32.8	30.4	12.7	3.9	9.9
中国・四国			23年	(431)	39.4	44.3	38.7	31.3	28.5	27.1	20.4	13.2	2.3	10.9
			20年	(431)	35.5	40.4	40.8	37.1	28.3	28.5	32.9	19.7	3.0	8.8
			17年	(450)	37.8	34.4	41.8	38.0	26.9	31.8	28.9	13.8	2.0	10.9
九州・沖縄			23年	(583)	39.1	37.7	40.7	30.4	27.4	32.2	29.8	16.1	3.6	11.0
			20年	(583)	42.2	43.9	41.3	33.4	30.9	34.0	32.8	15.8	4.3	8.9
			17年	(600)	47.3	40.0	42.7	45.0	30.3	33.7	34.8	12.3	4.5	5.2

7. 初めての献血について

【経験者編】



(1) 初めての献血した年齢 (Q16)

【初めて献血した年齢は10代が6割強】

- 初めての献血した年齢は、「16～17歳」が29.3%、「18～19歳」が33.8%、「20～24歳」が32.1%で、ともに1/3程度を占めている。10代で初めて献血を経験した人の割合が全体の6割強を占める。
- 職業別でみると、当然ではあるが高校生は「16～17歳」が86.7%と9割近くを占め大半。大学生・専門学校生は「18～19歳」が43.8%で最も多い。一方、会社員、公務員は「16～17歳」が他の層と比べて低く、「20～24歳」での献血経験が最も多い。
- 性別では、女性の「16～17歳」での経験率は31.6%で男性(27.0%)と比べて5ポイント高い。男性は「20～24歳」での経験率(34.3%)が女性(29.8%)に比べて5ポイント高く、男性に比べて女性の方が若いうちに献血を経験している傾向がみられる。
- 地域別では、東北で「16～17歳」での経験率(39.7%)が他の地域に比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「16～17歳」での経験率が6ポイント低下している。一方、「18～19歳」「20～24歳」が若干上昇している。20年度調査と23年度調査では大きな差はみられない。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、大学生・専門学校生、会社員、公務員、専業主婦で「16～17歳」が低下。20年度調査と23年度調査を比べると専業主婦で「16～17歳」が上昇しているが、その他の層に関しては大きな変化はみられない。
- 性別では、17年度調査と20年度調査を比べると、女性は「16～17歳」での経験率が低下し、「18～19歳」での経験率が上昇。23年度調査は、20年度調査と比べて大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道、関東甲信越、東海北陸、九州・沖縄で、上記女性の層と同様の傾向にある。

7. 初めての献血について

【経験者編】



(1) 初めての献血した年齢 (Q16)

Q16. 初めての献血をしたのはいつですか。

【基数:対象者全員】		(%)				
		16～17歳	18～19歳	20～24歳	25～29歳	
全体	23年 (5000)	29.3	33.8	32.1	4.8	
	20年 (5000)	28.6	33.4	32.3	5.7	
	17年 (5000)	34.6	30.6	27.9	7.0	
高校生	23年 (180)		86.7		12.2	
	20年 (181)		87.3		12.7	
	17年 (87)		87.4		11.5	
大学生・専門学校生	23年 (1481)	27.4	43.8	28.2		
	20年 (1453)	29.9	40.4	28.8		
	17年 (652)	39.9	38.7	21.2		
会社員	23年 (2019)	24.5	29.3	38.4	7.7	
	20年 (2152)	23.0	31.4	37.2	8.5	
	17年 (2099)	28.8	29.6	32.8	6.8	
公務員	23年 (225)	25.8	31.1	36.9	6.2	
	20年 (207)	22.2	29.0	38.6	10.1	
	17年 (203)	29.1	32.0	35.0	4.9	
自営業	23年 (135)	31.1	32.6	31.1	5.2	
	20年 (106)	33.0	27.4	31.1	9.5	
	17年 (143)	33.6	35.7	21.0	9.8	
専業主婦	23年 (444)	34.9	34.7	25.5	5.0	
	20年 (448)	27.7	34.2	29.7	8.5	
	17年 (1067)	39.7	28.5	24.6	7.0	
その他	23年 (516)	29.5	31.4	32.9	6.2	
	20年 (453)	30.7	32.0	32.7	4.6	
	17年 (749)	34.4	29.8	27.0	8.8	
性別	男性	23年 (2518)	27.0	39.4	34.3	5.3
	20年 (2556)	25.2	32.9	35.0	6.9	
	17年 (1705)	28.6	31.5	31.8	8.1	
女性	23年 (2482)	31.6	34.3	29.8	4.3	
	20年 (2444)	32.2	34.0	29.4	4.4	
	17年 (3295)	37.7	30.1	25.8	6.5	
地域別	北海道	23年 (206)	29.6	35.9	31.1	3.4
	20年 (210)	28.1	36.7	27.6	7.6	
	17年 (200)	36.5	29.5	30.0	4.0	
東北	23年 (353)	39.7	31.2	25.5	3.7	
	20年 (355)	38.0	33.5	24.5	3.9	
	17年 (350)	40.0	31.1	22.3	6.6	
関東甲信越	23年 (1825)	32.9	31.9	29.6	5.6	
	20年 (1825)	30.0	32.3	31.0	6.2	
	17年 (1800)	36.6	29.7	26.9	6.8	
東海北陸	23年 (786)	27.0	36.1	33.1	3.8	
	20年 (780)	28.7	34.6	31.7	5.0	
	17年 (750)	33.2	30.9	28.7	7.2	
近畿	23年 (818)	25.7	31.7	37.1	5.4	
	20年 (816)	26.1	30.5	36.8	6.8	
	17年 (850)	29.2	30.4	31.9	6.6	
中国・四国	23年 (431)	26.9	32.7	36.2	4.2	
	20年 (431)	26.2	32.5	35.4	4.9	
	17年 (450)	27.8	32.2	33.6	6.4	
九州・沖縄	23年 (583)	21.4	41.5	32.4	4.6	
	20年 (583)	23.8	37.6	34.1	4.5	
	17年 (600)	39.2	31.7	22.3	6.8	

7. 初めての献血について

【経験者編】



(2) 初めて献血した場所 (Q17)

【初めて献血した場所は献血ルームが3割強】

- 初めて献血した場所は、「献血ルーム」が33.2%で最も高く、3人中1人。次いで、「献血バス」が21.8%、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」が21.2%で続く。
- 職業別では、高校生は「高校(での集団献血)」(28.9%)と「献血バス」(26.1%)が他の層と比べて高く、「献血ルーム」(32.8%)とでそれぞれ1/3近くで分かれる。大学生・専門学校生は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(30.2%)が他の層と比べて高く、「献血ルーム」(34.5%)について第2位の場所である。専業主婦では「献血ルーム」が42.6%で4割強を占め、他の層と比べて高い。
- 性別では、女性の「献血ルーム」(40.6%)での経験率が男性(26.0%)と比べて15ポイントと大きく上回っている。一方男性は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(25.7%)での経験率が女性と比べて9ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「高校(での集団献血)」(24.1%)、近畿で「献血バス」(31.6%)が他の地域に比べて高い。

- 20年度調査と23年度調査を比べると、全体で大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、高校生で「高校(での集団献血)」が9ポイント低下、自営業では「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」が9ポイント上昇し「献血ルーム」が8ポイント低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、大きな変化はみられない。
- 地域別では、20年度調査と比べると、北海道では「献血バス」での経験率が上昇し、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」と「献血ルーム」が低下。東海北陸では「高校(での集団献血)」が20年度調査と比べて低下。また、九州・沖縄では「献血ルーム」が上昇している。

7. 初めての献血について

【経験者編】



(2) 初めて献血した場所 (Q17)

Q17. 初めて献血した場所はどこですか。

【基数:対象者全員】	(N)	(%)					
		高校	大学キャンパス 又は専門学校 ・各種学校	職場	献血バス (巡回バス)	献血ルーム (血液センター)	覚えていない
全体	23年 (5000)	15.9	21.2	5.2	21.8	33.2	5.7
	20年 (5000)	18.0	21.2	4.8	21.0	32.8	2.1
	17年 (5000)	22.6	15.2	4.4	37.8	32.8	2.5
	23年 (180)	28.9	3.9	0.0	25.0	32.8	8.3
	20年 (181)	38.1	0.0	0.0	29.2	31.5	5.5
	17年 (87)	16.1	34.5	0.1	17.9	48.3	1.9
	23年 (1481)	15.6	30.2	0.1	17.9	34.5	1.7
	20年 (1453)	20.0	30.0	0.1	15.5	32.4	1.7
	17年 (652)	21.3	33.3	0.1	17.9	37.4	2.6
会社員	23年 (2019)	15.1	19.9	9.8	22.6	31.1	2.5
	20年 (2152)	16.3	19.8	5.1	22.7	31.2	1.8
	17年 (2099)	21.8	7.3	3.7	39.7	31.5	2.3
公務員	23年 (225)	19.1	18.2	14.2	14.7	30.2	3.6
	20年 (207)	17.4	24.2	13.5	15.8	27.1	1.0
	17年 (203)	20.2	13.3	1.0	35.0	29.1	2.5
自営業	23年 (135)	14.8	18.5	5.9	25.2	28.9	6.7
	20年 (106)	19.8	9.4	0.0	26.4	36.8	5.7
	17年 (143)	18.2	2.8	0.0	24.0	33.6	3.5
専業主婦	23年 (444)	15.3	10.8	5.0	23.0	42.6	3.4
	20年 (448)	11.6	4.7	4.7	26.0	40.4	2.5
	17年 (1067)	29.0	5.2	0.0	34.1	28.6	2.7
その他	23年 (516)	14.3	17.2	4.1	22.7	32.4	2.3
	20年 (453)	18.1	15.5	2.0	24.9	36.4	3.1
	17年 (749)	19.4	2.4	0.0	36.0	36.0	3.2
性別	23年 (2518)	16.3	25.7	6.8	21.2	26.0	3.9
	20年 (2558)	19.6	24.6	6.1	21.6	25.1	2.9
	17年 (1705)	20.7	6.0	0.0	42.6	27.2	3.8
	23年 (2482)	15.4	19.6	3.5	22.4	40.8	3.5
	20年 (2444)	16.4	17.8	3.4	26.1	40.9	1.9
	17年 (3295)	23.6	6.7	0.0	34.4	35.4	2.9
地域別	23年 (206)	13.1	18.5	6.3	35.2	35.0	3.9
	20年 (210)	12.4	22.9	7.1	15.7	40.0	2.9
	17年 (200)	10.0	8.0	0.0	42.5	43.0	3.5
	23年 (353)	24.1	17.3	6.2	20.7	30.3	1.8
	20年 (355)	27.6	14.9	6.5	17.2	32.4	1.9
	17年 (350)	32.3	5.4	0.0	6.1	27.7	1.4
関東甲信越	23年 (1825)	19.5	20.2	3.7	18.8	35.4	2.4
	20年 (1825)	19.2	18.1	3.7	19.2	37.4	2.4
	17年 (1800)	22.7	4.2	0.0	42.1	38.0	2.7
東海北陸	23年 (785)	13.5	20.2	7.1	24.0	34.6	2.9
	20年 (780)	20.5	20.8	4.7	20.6	31.5	1.8
	17年 (750)	23.5	5.5	0.0	32.1	25.3	3.6
近畿	23年 (816)	10.7	21.8	4.7	31.0	28.1	3.2
	20年 (816)	13.5	23.3	4.5	19.0	27.5	2.2
	17年 (850)	18.5	5.4	0.0	45.5	27.9	2.7
中国・四国	23年 (431)	14.6	22.1	6.1	23.9	28.3	2.8
	20年 (431)	18.2	28.2	6.0	21.8	27.8	1.9
	17年 (450)	20.0	9.1	0.0	42.0	26.9	2.0
九州・沖縄	23年 (583)	12.0	27.0	5.1	11.2	36.5	2.9
	20年 (583)	14.9	28.3	6.0	10.2	29.2	2.4
	17年 (600)	27.7	5.0	0.0	30.0	35.7	1.7

注: 17年は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」の回答数なし。

7. 初めての献血について

【経験者編】



(3)初めての献血の種類 (Q18)

【初めての献血の種類は「200ml献血」が半数】

- 初めての献血は「200ml献血」での経験率が47.4%と半数を占める。「400ml献血」は30.9%、「成分献血」は5.7%であった。
- 職業別では、「200ml献血」は高校生(62.2%)と専業主婦(60.8%)でそれぞれ6割強を占めており高い。
- 性別では、男性は「200ml献血」(35.9%)より「400ml献血」(41.1%)での経験率が高い。対して女性は「200ml献血」が59.1%で6割弱を占めており高い。
- 地域別では、九州・沖縄で「400ml献血」が40.8%を占め、「200ml献血」(37.7%)での経験率よりも高くなっている。

- 過去2回調査と比べると、全体の「400ml献血」での経験率が上昇傾向で、対して「200ml献血」が低下傾向である。
- 職業別では、過去2回調査と比べると、公務員以外の層で概ね「400ml献血」が上昇傾向で、「200ml献血」が低下傾向。公務員では17年度調査と20年度調査を比べると「400ml献血」が11ポイント上昇したが、23年度調査では8ポイント低下した。
- 性別・地域別でも、過去2回調査と比べると、各層で「200ml献血」が低下傾向、「400ml献血」が上昇傾向にある。

7. 初めての献血について

【経験者編】



(3)初めての献血の種類 (Q18)

Q18. 初めての献血の種類は何ですか。

		【基数:対象者全員】				
		(N)	200ml献血	400ml献血	成分献血	覚えていない
全体	23年	(5000)	47.4	30.9	5.7	16.0
	20年	(5000)	51.6	28.9	5.7	13.8
	17年	(5000)	62.3	18.9	5.5	13.2
高校生	23年	(180)	62.2	6.1	11.1	30.6
	20年	(181)	69.6	5.0	0.6	24.9
	17年	(87)	71.3	4.6		23.0
大学生・専門学校生	23年	(1481)	44.3	35.8		5.3
	20年	(1453)	52.0	30.6		5.2
	17年	(652)	58.9	21.8		5.1
会社員	23年	(2019)	47.3	31.9		5.9
	20年	(2152)	48.2	32.6		5.9
	17年	(2099)	59.8	23.1		5.5
公務員	23年	(225)	45.3	35.6		8.0
	20年	(207)	41.5	43.5		6.3
	17年	(203)	57.6		32.5	6.9
自営業	23年	(135)	39.3	30.4		6.7
	20年	(106)	42.5	32.1		3.8
	17年	(143)	52.4	22.4		5.6
専業主婦	23年	(444)	60.8	15.3		5.2
	20年	(448)	67.0		12.7	5.8
	17年	(1067)	72.8		6.4	4.8
その他	23年	(516)	43.2	32.3		5.8
	20年	(453)	50.6	23.4		8.6
	17年	(749)	59.5	17.0		7.1
性別	23年	(2510)	35.9	41.1		4.1
	20年	(2556)	39.5	39.6		4.7
	17年	(1705)	45.3	34.4		4.7
女性	23年	(2482)	59.1	20.5		7.3
	20年	(2444)	64.2	17.6		6.8
	17年	(3295)	71.1	10.9		5.8
地域別	23年	(208)	49.5	32.5		2.4
	20年	(210)	54.8	29.5		2.4
	17年	(200)	65.5	18.5		3.5
北海道	23年	(353)	56.7	24.4		4.5
	20年	(355)	60.6	21.4		5.6
	17年	(350)	69.4	17.4		3.4
東北	23年	(1825)	50.5	28.2		4.4
	20年	(1825)	51.9	29.6		5.6
	17年	(1800)	59.9	19.9		5.2
関東甲信越	23年	(785)	48.3	28.2		7.8
	20年	(780)	53.7	25.3		6.7
	17年	(750)	64.3	14.7		5.3
東海北陸	23年	(816)	45.0	32.1		5.8
	20年	(818)	53.4	27.0		4.8
	17年	(850)	61.5	20.5		5.1
近畿	23年	(431)	42.2	35.7		7.2
	20年	(431)	48.5	31.3		7.0
	17年	(450)	66.0	17.6		6.7
中国・四国	23年	(583)	37.7	40.8		7.5
	20年	(583)	40.8	39.0		6.7
	17年	(600)	60.3	21.2		8.3
九州・沖縄	23年	(583)	37.7	40.8		7.5
	20年	(583)	40.8	39.0		6.7
	17年	(600)	60.3	21.2		8.3

7. 初めての献血について

【経験者編】



(4) 初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q19)

【初めての献血で400ml献血することに不安を感じない人は半数】

- 初めての献血で400ml献血をすることに対して不安を感じるかをたずねたところ、「特に不安は感じない」人が49.9%で半数を占める。一方、「不安」な人は39.4%で4割弱。
- 職業別では、専業主婦では「不安」(48.9%)が半数を占めており他の層と比べて高く、「特に不安は感じない」(39.4%)を10ポイント上回っている。
- 性別では、女性の「不安」と感じる割合(45.1%)が男性(33.7%)と比べて11ポイント上回っており高い。
- 地域別では、九州・沖縄で「特に不安は感じない」の割合(57.6%)が他の地域と比べて高い。また東北では「不安」と感じる割合(45.3%)が他の地域と比べて高い。

➤ 20年度調査と比べると、全体では「特に不安は感じない」人の割合が低下し、「不安」に感じる人の割合が上昇している。職業別・性別・地域別でも各層で同様の傾向にある。特に公務員と高校生で顕著である。

<参考:不安に思う理由>

【初めての献血で400ml献血することが不安な人】

不安に思う理由 (記載が多かったもの)
貧血になりそう
体調が悪くなりそう/倒れそう/フラフラになりそう
量が多いから
一度採血で体調不良になったから
体調にどのような変化が起こるか分からないから
ペットボトル約1本分に相当すると考えると不安
怖い
体が弱いから/普段から貧血気味だから
痩せているから/小柄だから/適合体重がぎりぎり心配
初めてだから

7. 初めての献血について

【経験者編】



(4) 初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q19)

Q19. 初めての献血で400ml献血をすることをどう思いますか。
(不安と回答した人に対し)不安を選んだ理由をお教えください。

【基数:対象者全員】		(%)		
		特に不安は感じない	不安	わからない
全体	23年 (5000)	49.9	39.4	10.8
	20年 (5000)	57.2	26.4	16.4
高校生	23年 (180)	43.3	40.0	16.7
	20年 (181)	56.4	19.9	23.8
大学生・専門学校生	23年 (1481)	51.7	39.6	8.6
	20年 (1453)	61.4	24.0	14.6
会社員	23年 (2019)	51.6	37.5	10.9
	20年 (2152)	57.6	26.3	16.2
公務員	23年 (225)	51.1	37.8	11.1
	20年 (207)	67.6	19.3	13.0
自営業	23年 (135)	47.4	34.1	18.5
	20年 (106)	55.7	23.6	20.8
専業主婦	23年 (444)	39.4	48.9	11.7
	20年 (448)	43.3	39.1	17.6
その他	23年 (516)	49.2	39.3	11.4
	20年 (453)	52.1	26.7	19.2
性別	23年 (2518)	55.5	33.7	10.8
	20年 (2556)	64.4	19.9	15.7
女性	23年 (2482)	44.1	45.1	10.8
	20年 (2444)	49.8	33.2	17.0
北海道	23年 (206)	52.4	32.0	15.5
	20年 (210)	58.6	24.8	16.7
東北	23年 (353)	47.6	45.3	7.1
	20年 (355)	58.3	29.0	12.7
関東甲信越	23年 (1825)	46.1	42.4	11.5
	20年 (1825)	57.5	27.2	15.3
地域別	23年 (788)	49.1	40.6	10.3
	20年 (780)	52.8	28.3	18.8
近畿	23年 (816)	52.8	35.7	11.5
	20年 (816)	54.3	27.0	18.8
中国・四国	23年 (431)	51.7	38.7	9.5
	20年 (431)	61.3	22.3	16.5
九州・沖縄	23年 (583)	57.6	32.8	9.6
	20年 (583)	62.4	22.6	14.9

8. 献血回数について

【経験者編】



(1) 過去1年間の200ml献血回数 (Q20-1)

【過去1年間で200ml献血をした人は4割強】

- 過去1年間で200ml献血をした経験のある人は41.1%。献血した回数では「1回」が24.6%。2回以上経験のある人は16.5%であった。
- 職業別では、高校生での経験率が85.6%で9割弱を占め、他の層と比べて圧倒的に高い。しかし、そのうちの6割強が「1回」である。次いで、大学生・専門学校生の経験率(45.0%)が高く半数近くにのぼる。
- 性別では、女性の経験率(46.3%)が男性の経験率(36.0%)を10ポイント上回り高い。
- 地域別では、中国・四国(35.7%)と九州・沖縄(32.6%)の経験率が他の地域と比べて低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると全体の経験率は6ポイント上昇したが、23年度調査では低下し、17年度調査と大きく変わらない。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、高校生の経験率は9ポイント低下したが、23年度調査で若干ではあるが上昇した。高校生以外の層では、17年度調査と20年度調査を比べると経験率が上昇したが、23年度調査では低下に転じている傾向。性別・地域別でも、各層で同様の傾向にある。

8. 献血回数について

【経験者編】



(1) 過去1年間の200ml献血回数 (Q20-1)

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。 (1) 200ml献血

		(N)	0回	1回	2回	3回	4回以上
全体	23年	(5000)		58.9		24.6	9.4 3.932
	20年	(5000)		53.9		27.4	10.8 3.743
	17年	(5000)		59.5		22.3	8.7 4.946
高校生	23年	(180)	14.4		83.3		10.6 5.6 6.1
	20年	(181)	17.7		61.9		11.6 5.5 3.3
	17年	(87)	9.2		67.8		14.9 5.7 2.4
大学生・専門学校生	23年	(1481)		55.0		28.7	10.9 3.6
	20年	(1453)		49.8		31.7	12.3 3.0 3.6
	17年	(652)		54.0		28.4	8.6 4.3 4.8
会社員	23年	(2019)		60.7		22.7	9.0 3.9 3.7
	20年	(2152)		55.9		25.0	10.2 4.3 4.6
	17年	(2099)		59.3		21.6	9.3 5.1 4.7
職業別 公務員	23年	(225)		65.8		17.8	9.9 4.0 3.6
	20年	(207)		66.2		15.5	8.2 4.3 5.8
	17年	(203)		72.4		15.8	4.9 2.5 4.4
自営業	23年	(135)		62.2		16.3	9.6 5.9 5.9
	20年	(106)		59.4		23.6	8.5 2.8 5.7
	17年	(143)		65.7		17.5	7.7 4.2 4.9
専業主婦	23年	(444)		60.4		20.0	10.1 4.1 5.4
	20年	(448)		56.0		23.9	11.2 3.6 5.4
	17年	(1067)		58.5		21.5	8.9 5.9 5.2
その他	23年	(516)		73.1		16.1	16.0 3.3 1.1
	20年	(453)		62.9		21.4	9.7 2.0 1.0
	17年	(749)		67.4		17.5	7.2 4.1 3.7
性別 男性	23年	(2518)		84.0		22.0	8.3 3.2 2.4
	20年	(2556)		59.7		24.0	9.5 3.1 3.6
	17年	(1705)		68.3		19.9	5.8 3.2 2.4
女性	23年	(2482)		53.7		27.4	10.8 4.6 3.8
	20年	(2444)		47.8		31.0	12.1 4.2 4.9
	17年	(3295)		54.9		23.5	10.2 5.7 5.6
北海道	23年	(206)		58.3		24.3	9.7 6.3 1.5
	20年	(210)		51.9		27.6	11.0 4.8 4.8
	17年	(200)		63.5		21.0	4.0 4.0 7.5
東北	23年	(353)		53.5		30.0	9.3 3.7 3.4
	20年	(355)		50.1		28.7	11.0 5.4 4.8
	17年	(350)		60.6		20.9	7.7 5.7 5.1
関東甲信越	23年	(1825)		55.4		26.5	10.1 4.2 3.8
	20年	(1825)		54.2		27.1	10.8 3.6 4.8
	17年	(1800)		60.3		23.0	8.2 4.4 4.1
地域別 東海北陸	23年	(788)		58.0		25.3	8.8 3.0 3.8
	20年	(780)		51.8		28.6	10.8 3.8 5.0
	17年	(750)		55.3		24.4	8.9 6.8 4.8
近畿	23年	(816)		60.9		24.3	9.6 2.8 1.5
	20年	(816)		49.1		30.4	12.3 6.8 4.4
	17年	(850)		53.2		24.1	12.7 5.2 4.8
中国・四国	23年	(431)		64.3		20.0	7.7 4.6 3.5
	20年	(431)		55.2		27.6	10.2 3.5 3.5
	17年	(450)		60.7		21.1	10.0 4.2 4.0
九州・沖縄	23年	(583)		67.4		18.7	9.4 2.7 1.1
	20年	(583)		64.3		21.6	8.7 2.2 1.1
	17年	(600)		68.3		17.2	5.5 4.2 4.8

8. 献血回数について

【経験者編】



(2) 過去1年間の400ml献血回数 (Q20-2)

【過去1年間で400ml献血をした人は4割弱】

- 過去1年間で400ml献血の経験がある人は36.6%。献血した回数では「1回」が23.7%。2回以上経験がある人は13.0%であった。
- 職業別では、大学生・専門学校生の経験率が44.6%、公務員で40.9%と他の層に比べて高い。一方、高校生と専業主婦の経験率は2割弱にとどまり他の層と比べて低い。
- 性別では、男性の経験率(46.1%)が女性の経験率(27.0%)を19ポイント上回り高く、200ml献血とは逆の結果となっている。
- 地域別では、九州・沖縄の経験率が42.5%で他の地域と比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体の経験率は11ポイント上昇し、23年度調査は20年度調査とほぼ横並びの結果である。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、高校生と専業主婦では大きな変化はみられなかったが、その他の層では経験率が上昇した。20年度調査と23年度調査を比べると、公務員の経験率が低下しているが、その他の層は20年度調査と大きな変化はみられない。
- 性別・地域別では、17年度調査と20年度調査を比べると、各層で経験率が上昇したが、20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。

8. 献血回数について

【経験者編】



(2) 過去1年間の400ml献血回数 (Q20-2)

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。(2) 400ml献血

		(%)				
		0回	1回	2回	3回	
職業別	全体	23年 (5000)	63.4	23.7	9.0	4.0
		20年 (5000)	82.3	22.1	8.3	7.4
		17年 (5000)	73.6	18.6	6.3	3.4
	高校生	23年 (180)	82.8	15.0	1.6	0.6
		20年 (181)	85.1	11.6	1.3	0.3
		17年 (87)	87.4	8.0	0.2	0.2
	大学生・専門学校生	23年 (1481)	55.4	29.0	11.5	4.0
		20年 (1453)	55.9	27.7	9.8	6.5
		17年 (652)	64.0	21.5	9.4	5.2
	会社員	23年 (2019)	62.9	23.3	9.1	4.7
		20年 (2152)	59.2	22.4	9.4	9.0
		17年 (2099)	70.0	18.9	7.3	3.7
	公務員	23年 (225)	59.1	23.6	9.3	8.0
		20年 (207)	54.1	20.8	9.7	15.5
		17年 (203)	58.8	21.7	13.8	5.9
	自営業	23年 (135)	64.4	22.2	8.9	4.4
		20年 (106)	65.1	17.0	8.5	9.4
		17年 (143)	75.5	15.4	4.2	4.9
	専業主婦	23年 (444)	80.2	19.7	4.7	4.7
		20年 (448)	82.8	11.4	0.8	0.8
17年 (1067)		83.4	11.9	2.8	2.8	
その他	23年 (518)	68.4	21.5	7.4	3.5	
	20年 (453)	71.5	18.8	4.8	5.1	
	17年 (749)	80.2	12.6	4.8	4.4	
性別	男性	23年 (2518)	53.9	29.0	11.4	5.7
		20年 (2556)	52.1	25.9	11.4	10.6
		17年 (1705)	60.6	22.5	10.9	6.0
	女性	23年 (2482)	73.0	18.2	6.5	2.4
		20年 (2444)	73.0	18.0	5.0	4.0
		17年 (3295)	80.3	13.6	4.0	4.4
地域別	北海道	23年 (206)	60.2	27.2	7.8	4.9
		20年 (210)	61.0	23.3	11.4	4.3
		17年 (200)	73.5	18.5	6.0	4.0
	東北	23年 (353)	66.9	20.4	8.8	4.0
		20年 (355)	63.9	19.7	9.8	6.8
		17年 (350)	74.6	17.7	4.9	2.8
	関東甲信越	23年 (1825)	64.2	22.7	8.6	4.4
		20年 (1825)	62.5	22.0	8.2	7.4
		17年 (1800)	73.2	17.2	6.4	3.2
	東海北陸	23年 (786)	66.5	21.4	8.4	3.7
		20年 (780)	66.9	18.2	7.2	7.7
		17年 (750)	78.5	12.5	5.5	3.5
近畿	23年 (816)	62.5	23.9	9.4	4.2	
	20年 (816)	62.3	23.3	8.8	5.6	
	17年 (850)	72.4	18.4	5.9	3.4	
中国・四国	23年 (431)	62.4	28.9	8.1	2.1	
	20年 (431)	60.8	23.7	6.0	9.5	
	17年 (450)	72.0	16.0	6.4	3.6	
九州・沖縄	23年 (583)	57.5	27.8	11.3	3.6	
	20年 (583)	58.3	25.6	9.1	9.1	
	17年 (600)	71.2	17.5	7.2	4.2	

8. 献血回数について

【経験者編】



(3) 過去1年間の成分献血回数 (Q20-3)

【過去1年間で成分献血をした人は3割弱】

- 過去1年間で成分献血の経験がある人は27.3%。献血した回数では「1回」が14.8%。2回以上経験のある人は12.5%であった。
- 職業別では、高校生の経験率が14.4%、専業主婦の経験率が21.4%で他の層と比べると経験率が低い。
- 性別による大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道の経験率が21.4%で他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での経験率は上昇傾向にある。ただし2回以上の複数回経験者の割合には大きな変化はみられず、「1回」経験している割合が上昇している。
- 職業別では、公務員のみ20年度調査と23年度調査を比べると経験率がやや低下しているが、その他の層では17年度調査から経験率は上昇傾向にある。
- 性別では、男女ともに17年度調査から経験率は上昇傾向にある。
- 地域別では、東北と中国・四国では20年度調査と23年度調査で大きな変化はみられないが、その他の地域では20年度調査と比べて経験率が上昇している。

8. 献血回数について

【経験者編】



(3) 過去1年間の成分献血回数 (Q20-3)

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。 (3) 成分献血

		(N)	0回	1回	2回	3回	4回以上
全体	23年	(5000)		72.7	14.8	5.0	3.5
	20年	(5000)		77.9	11.0	3.2	6.0
	17年	(5000)		81.2	7.7	3.4	5.6
高校生	23年	(180)		85.6	11.1	2.6	0.0
	20年	(181)		93.9	0.0	0.0	5.5
	17年	(87)		92.0	0.0	0.0	5.7
大学生・専門学校生	23年	(1481)		68.3	18.3	5.8	5.3
	20年	(1453)		76.5	12.7	3.2	5.8
	17年	(652)		77.9	9.7	2.8	7.1
会社員	23年	(2019)		71.8	14.4	5.2	5.8
	20年	(2152)		76.4	11.5	3.2	6.6
	17年	(2099)		79.6	8.2	4.0	5.9
公務員	23年	(225)		75.1	12.9	4.0	6.2
	20年	(207)		71.0	11.1	5.3	10.6
	17年	(203)		73.9	9.9	4.9	7.4
自営業	23年	(135)		72.6	14.8	6.2	5.2
	20年	(108)		78.3	10.4	6.2	4.7
	17年	(143)		80.4	12.5	1.9	3.5
専業主婦	23年	(444)		78.6	12.9	1.9	3.4
	20年	(448)		83.7	5.5	2.9	2.6
	17年	(1067)		87.5	5.9	2.8	3.0
その他	23年	(518)		78.1	10.5	6.2	5.2
	20年	(453)		79.9	8.4	2.0	7.1
	17年	(749)		80.5	16.0	3.5	7.3
性別	23年	(2518)		72.5	15.2	4.8	5.4
	20年	(2556)		79.1	10.0	2.8	6.3
	17年	(1705)		82.0	6.9	2.0	6.9
女性	23年	(2482)		72.8	14.5	5.2	5.1
	20年	(2444)		76.5	12.1	3.8	5.6
	17年	(3295)		80.8	8.1	3.8	5.1
地域別	23年	(205)		78.8	9.2	6.3	9.2
	20年	(210)		86.2	0.0	0.0	1.4
	17年	(200)		87.0	0.0	0.0	0.0
北海道	23年	(353)		76.5	12.7	6.7	5.9
	20年	(355)		77.7	12.1	3.1	5.4
	17年	(350)		81.1	7.1	2.9	6.3
東北	23年	(1825)		71.7	15.0	5.1	5.8
	20年	(1825)		77.6	10.9	3.3	6.5
	17年	(1800)		81.7	7.9	3.1	5.3
関東甲信越	23年	(786)		72.9	13.9	6.5	5.5
	20年	(780)		77.7	10.5	4.0	6.0
	17年	(750)		77.7	8.5	3.6	6.3
近畿	23年	(816)		72.9	16.4	4.8	4.2
	20年	(816)		77.7	10.9	3.4	5.9
	17年	(850)		80.9	8.2	4.1	2.4
中国・四国	23年	(431)		73.8	14.8	4.2	3.4
	20年	(431)		75.9	12.5	2.6	7.0
	17年	(450)		81.3	7.1	2.9	5.8
九州・沖縄	23年	(583)		69.8	18.5	5.5	5.7
	20年	(583)		77.5	11.5	2.2	5.7
	17年	(600)		82.3	8.5	3.8	5.0

8. 献血回数について

【経験者編】



(4) 今までの合計献血回数 (Q21)

【今までの合計献血回数は2回以上が3人中2人】

- 今までの合計献血回数は、「1回」が最も多く33.8%を占め、3人中1人。3人中2人(66.2%)が2回以上の複数回献血者であり、回数は「3~5回」が全体の26.4%を占める。
- 職業別では、公務員で2回以上の複数回献血者の割合が76.9%にのぼり高い。特に「3~5回」の経験者が公務員全体の31.6%を占めており高い。対して高校生の複数回献血者は31.7%、大学生・専門学校生は60.9%で、学生の複数回献血者が他の層と比べて低い。
- 性別・地域別では大きな差はみられない。
- 今までの合計献血回数を、初めて献血した場所と家族の献血の有無で分析した。※下図を参照まず、初めて献血した場所別では、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」や「職場」に比べて「高校」で初めて献血した層ほど献血頻度が高い傾向。高校で初めて献血した層では、3回以上の献血者が半数を占める。また家族の献血の有無では、家族の献血現場を見たことがある層ほど本人の献血頻度が高まっており、両者の相関がみられる。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での献血頻度は低下し、複数回献血者の割合が6ポイント低下した。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。
- 職業別では、過去2回調査と比べると、高校生の複数回献血者の割合は低下傾向にある。また自営業は20年度調査と比べると「3~5回」の割合が低下し、「2回」の割合が上昇している。
- 性別では、男女ともに17年度調査と20年度調査を比べると献血回数が低下し、23年度調査は20年度調査から大きな変化はみられない。
- 地域別では、北海道で20年度調査と23年度調査を比べると、3回以上の献血者の割合が上昇している。

<関連質問の回答別>

【基数:対象者全員】

		(N)	1回	2回	3~5回	6~10回	11~20回	21~30回	それ以上	
全体	23年	(5000)	33.8	18.3	26.4	10.4	5.9	3.2	4.4	
	20年	(5000)	33.7	18.7	26.2	10.6	6.2	2.0	4.0	
高校	23年	(793)	31.8	18.5	29.9	10.5	4.2	2.1	3.0	
	20年	(902)	30.6	21.5	27.8	10.4	8.8	1.6	3.8	
大学キャンパス又は 専門学校・各種学校	23年	(1058)	34.5	21.1	27.1	9.8	4.8	1.2	3.3	
	20年	(1062)	38.1	20.9	28.6	7.9	3.9	4.4	2.2	
職場	23年	(262)	32.4	23.3	25.2	10.7	5.3	2.3	3.3	
	20年	(240)	38.7	22.5	27.9	9.2	0.4	3.1	3.1	
献血バス (上記以外)	23年	(1091)	36.1	19.7	25.1	9.7	6.3	2.5	3.2	
	20年	(1048)	37.5	18.5	24.2	11.4	4.6	2.7	3.1	
献血ルーム (血液センター)	23年	(1661)	31.9	14.4	26.1	11.9	7.5	3.9	4.3	
	20年	(1641)	29.5	15.5	25.4	13.2	9.1	3.9	4.0	
覚えていない	23年	(135)	47.4		20.7	17.8	8.0	0.7	4.4	
	20年	(107)	57.0		14.0	16.7	3.7	4.7	3.9	
家族の 献血の有無	ある	23年	(1216)	25.5	15.8	27.8	12.3	8.5	4.5	4.5
	20年	(1088)	24.2	16.0	26.4	13.7	10.3	3.5	4.0	
ない	23年	(3350)	36.3	19.0	25.9	9.8	4.8	1.7	3.9	
	20年	(3531)	35.9	19.1	25.8	10.3	5.3	1.7	3.9	
覚えていない	23年	(434)	37.6	19.8	26.7	9.7	3.5	1.8	3.8	
	20年	(381)	40.2	22.8	23.6	7.1	2.8	2.4	3.8	

8. 献血回数について

【経験者編】



(4) 今までの合計献血回数 (Q21)

Q21. 今までの献血回数は合計で何回ですか。

(%)

【基数:対象者全員】

		(N)	1回	2回	3~5回	6~10回	11~20回	21~30回	それ以上
全体	23年	(5000)	33.8	18.3	26.4	10.4	5.9	3.2	4.4
	20年	(5000)	33.7	18.7	26.2	10.6	6.2	2.0	4.0
	17年	(5000)	28.2	16.3	27.3	13.4	7.9	3.3	4.0
高校生	23年	(180)	68.3	12.8	14.4	3.1	0.4	0.0	0.0
	20年	(181)	63.0	19.3	13.3	3.4	0.0	0.0	0.0
	17年	(87)	56.3	29.9	11.3	0.1	0.0	0.0	0.0
大学生・専門学校生	23年	(148)	39.1	21.0	25.1	7.6	3.8	1.4	0.0
	20年	(1453)	38.0	21.1	25.2	8.1	4.3	1.6	0.0
	17年	(652)	34.0	16.3	27.6	11.7	6.3	2.8	0.0
会社員	23年	(2019)	29.0	16.0	28.1	12.7	8.8	2.6	4.7
	20年	(2152)	28.3	17.7	27.9	12.9	7.9	3.0	4.1
	17年	(2099)	25.0	15.6	28.3	14.1	8.5	4.2	4.1
公務員	23年	(225)	23.1	16.9	31.6	0.6	9.8	7.6	0.0
	20年	(207)	23.7	16.9	24.6	17.4	7.7	4.3	5.3
	17年	(203)	13.3	11.6	31.0	13.3	18.2	4.9	7.4
自営業	23年	(135)	30.4	22.2	20.0	11.9	6.7	5.9	3.0
	20年	(106)	33.0	11.9	31.1	13.2	4.7	6.6	0.0
	17年	(143)	28.0	13.3	28.7	16.9	7.0	3.2	4.4
専業主婦	23年	(444)	28.6	20.5	28.6	12.8	7.2	0.0	0.0
	20年	(448)	34.4	18.3	28.9	10.9	6.3	1.3	0.0
	17年	(1067)	29.2	17.1	26.1	15.5	7.5	5.2	0.0
その他	23年	(518)	35.5	18.8	25.2	6.7	6.2	7.5	0.0
	20年	(453)	38.0	18.3	24.1	9.1	6.4	2.2	0.0
	17年	(749)	31.4	17.1	26.0	11.1	8.9	2.9	5.2
性別 男性	23年	(2518)	33.2	17.9	27.1	10.7	5.6	2.3	2.2
	20年	(2556)	33.4	18.7	26.3	10.6	5.9	3.2	0.0
	17年	(1705)	26.9	16.4	28.9	11.0	8.5	3.4	4.9
女性	23年	(2482)	34.4	18.7	25.7	10.1	6.1	2.6	0.0
	20年	(2444)	34.0	18.7	26.1	11.3	6.5	1.5	0.0
	17年	(3295)	28.9	16.2	26.4	14.7	7.6	3.2	0.0
地域別 北海道	23年	(206)	31.6	16.0	33.5	7.8	5.8	3.1	0.0
	20年	(210)	35.2	20.0	26.7	10.5	5.2	1.4	0.0
	17年	(200)	28.0	17.5	24.6	12.5	11.5	2.5	0.0
東北	23年	(353)	31.2	21.5	26.3	10.2	6.6	3.0	0.0
	20年	(355)	30.7	18.0	27.3	12.7	6.8	3.1	0.0
	17年	(350)	24.0	17.4	26.9	16.3	8.0	5.1	2.9
関東甲信越	23年	(1825)	34.6	16.9	26.0	10.6	6.5	3.1	0.0
	20年	(1825)	34.6	18.0	25.9	10.7	6.3	1.4	0.0
	17年	(1800)	30.4	16.2	26.7	12.8	6.9	3.7	3.3
東海北陸	23年	(786)	34.5	18.2	25.1	11.2	6.6	3.5	0.0
	20年	(780)	32.9	20.0	28.0	9.1	5.8	2.8	0.0
	17年	(750)	28.0	16.8	28.1	11.7	8.5	3.7	6.1
近畿	23年	(816)	34.7	19.5	25.2	10.8	4.5	2.6	0.0
	20年	(816)	35.7	17.6	25.4	11.5	5.9	2.2	0.0
	17年	(850)	30.2	14.8	28.5	14.8	6.7	2.9	0.0
中国・四国	23年	(431)	31.3	18.8	27.4	12.1	5.6	2.3	0.0
	20年	(431)	31.8	20.4	25.8	10.0	6.6	1.2	0.0
	17年	(450)	24.4	19.6	27.8	12.2	10.2	2.9	2.7
九州・沖縄	23年	(583)	33.4	19.6	26.1	9.8	5.8	3.4	0.0
	20年	(583)	31.9	19.2	28.0	11.7	5.1	2.7	0.0
	17年	(600)	26.5	14.3	27.5	14.8	8.5	2.7	5.7